令和７年度

幼保小連携活動報告

令和８年９月

足立区教育委員会

子ども施設指導・支援課

目　次

Ⅰ　幼保小連携活動の目標 ····· 3

Ⅱ　各ブロック幼保小連携活動報告

1　第１ブロック（千住地域） ····· 6

2　第２ブロック（扇・江北・宮城地域） ····· 11

3　第３ブロック（西新井・西新井本町・本木東地域 等） ····· 15

4　第４ブロック（梅田・梅島・関原地域 等） ····· 19

5　第５ブロック（足立・弘道・中央本町地域 等） ····· 23

6　第６ブロック（綾瀬・東和・中川地域） ····· 27

7　第７ブロック（大谷田・六木・谷中地域） ····· 31

8　第８ブロック（青井・一ツ家・平野地域 等） ····· 35

9　第９ブロック（花畑・南花畑地域） ····· 39

10　第１０ブロック（竹の塚・西保木間・保木間地域 等） ····· 43

11　第１１ブロック（伊興・栗原・東伊興地域 等） ····· 47

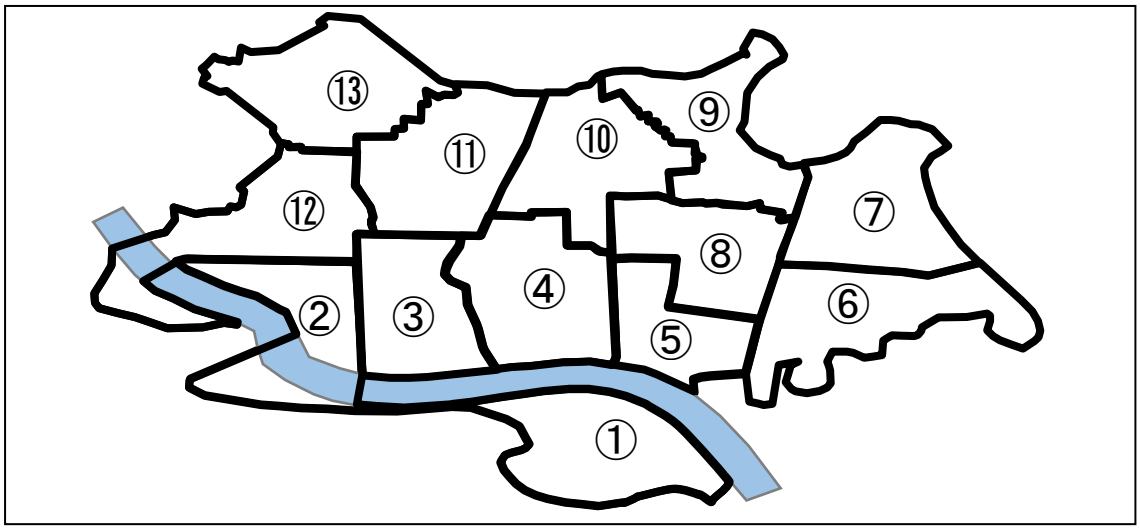
12　第１２ブロック（皿沼・鹿浜・新田地域 等） ····· 51

13　第１３ブロック（入谷・舎人・古千谷本町地域） ····· 55

Ⅲ　接続期教育研修 実績内容 ····· 59

Ⅳ　小学校第１学年の生活・学習習慣に関するアンケート項目別結果一覧 61

ブロック配置図



Ⅰ　幼保小連携活動の目標

１　幼保小連携における区の考え方

幼児教育から小学校教育への滑らかな移行のため、３つのテーマに沿って教育・保育を展開していくとともに、小学校段階で定着度を調査し、幼保小連携活動の充実につなげていく。

	基本的生活習慣の定着	自発的な行動	学びの芽生え
就学前施設	話をする人に興味をもち、集中して話を聞くようになる。	食事のマナーを意識して、楽しんで食べる。また、自分の持ち物に愛着をもち、使った遊具は片づけるようになる。	遊びや生活を通じて数字や文字を書くようになる。また、グループ活動を友だちと協力して取り組むようになる。
小学校	姿勢良く座り、前を向いて教員の話を聞くようになる。	食事のマナーを身につけて、楽しんで食べる。また、自分の持ち物を認識し、大切に使い、整理する。	正しい鉛筆の持ち方で、文字や数字を書くようになる。また、グループ活動で、友だちの意見を尊重できるようになる。
アンケート項目	①あいさつや返事ができる。 ②姿勢良く座ることができる。 ③静かに話を聞くことができる。	④食器を持ったり、手を添えたりしながら食べる。 ⑤持ち物を大切に扱い、整理することができる。	⑥鉛筆を正しく持つことができる。 ⑦ひらがなで自分の名前が書ける。 ⑧友だちと声をかけあったり、関わったりすることができる。

２　「小学校第１学年の生活・学習習慣に関するアンケート」の実施について

令和７年度の幼保小連携活動の事業結果を分析し、今後の連携活動や子どもたちの指導支援へ活かすため、アンケートを実施した。なお、本アンケートは平成２９年度から毎年アンケート項目を検討しながら、実施している。

（１）対象

区立小学校１年生（全６７校　児童数４，０６０人）
担任教諭による見取り（学校の生活状況や授業態度を観察）

（２）実施時期

令和８年４月

（３）実施結果

小学校第１学年の生活・学習習慣に関するアンケート結果

アンケート項目	結果	前年度比較
①あいさつや返事ができる	95.9%	↑4.7pt
②姿勢良く座ることができる	87.0%	↑3.8pt
③静かに話を聞くことができる	87.9%	↑2.5pt
④食器を持ったり、手を添えたりしながら食べる	83.6%	↑8.1pt
⑤持ち物を大切に扱い、整理することができる	90.1%	↑5.3pt
⑥鉛筆を正しく持つことができる	80.4%	↑5.9pt
⑦ひらがなで自分の名前が書ける	95.1%	↑1.3pt
⑧友だちと声をかけあったり、関わったりすることができる	94.2%	↑3.1pt

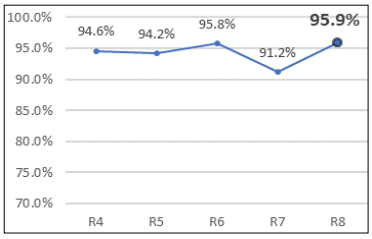
基本的生活習慣の平均値は９０．３％

*アンケート項目別結果一覧・経年表は P61 以降参照

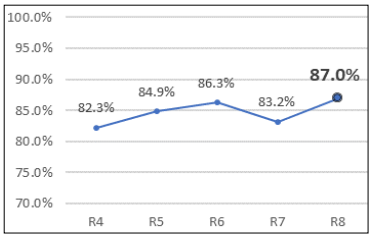
*対象者及び評価者は毎年違うため、毎年 3 ポイント程度の差が生じる。

アンケート項目別経年表

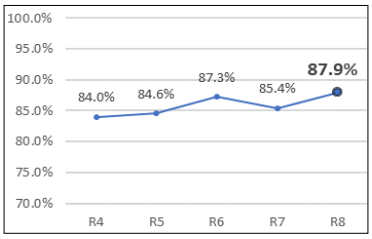
①あいさつや返事ができる



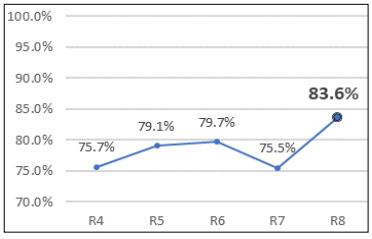
②姿勢良く座ることができる



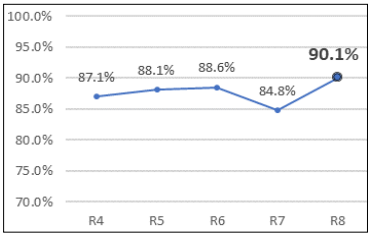
③静かに話を聞くことができる



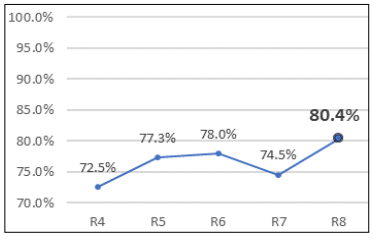
④食器を持ったり、手を添えたりしながら食べる



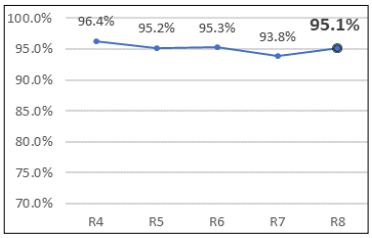
⑤持ち物を大切に扱い、整理することができる



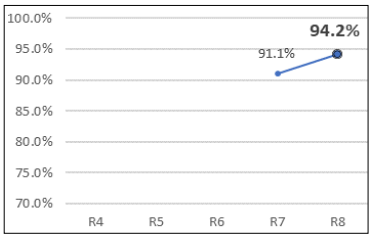
⑥鉛筆を正しく持つことができる



⑦ひらがなで自分の名前が書ける



⑧友だちと声をかけあったり、関わったりすることができる



（４）分析

ア　令和８年度はすべての項目で数値が上昇しており、基本的生活習慣の定着に向けた取り組みの成果が見られた。特に、「食器を持ったり、手を添えたりしながら食べる」（８３．６％）、「鉛筆を正しく持つことができる」（８０．４％）について改善が見られた。

イ　「食器を持ったり、手を添えたりしながら食べる」「鉛筆を正しく持つことができる」については、他項目と比較すると依然として割合が低いことから、日常生活における手指の使い方や姿勢等を意識した継続的な取り組みが必要である。

（５）令和８年度の取組方針

基本的生活習慣の定着に向けた取り組みによりすべての項目で改善が見られたことから、引き続き幼保小連携アドバイザーの訪問支援や家庭との連携を通した継続的な取り組みを進める。

また、他項目と比較して割合が低い「食器を持ったり、手を添えたりしながら食べる」ことを重点課題として設定し、幼保小連携アドバイザーによる支援や家庭との連携を通して、園・学校・家庭が共通した視点で取り組みを推進する。日常の食事場面で適切な姿勢や食具の扱いを身に付けることにより、手指の巧緻性を高め、学習活動の基盤となる力を育成する。

令和８年度 重点課題

「食器を持ったり、手を添えたりしながら食べる」目標値：９０％以上（令和１０年度まで）

Ⅱ 各ブロック幼保小連携活動報告

区内を１３のブロックに分け、小学校・就学前施設に通う子どもたちの姿に合わせた幼保小連携活動を実施している。

また、教員と保育者が現在の子どもたちの現状を把握し、活動内容を検討するため、全ブロックで連携会議（以下、ブロック会議）を２回（６月と２月）開催している。本章では各ブロック会議で検討された課題や取組方針を紹介する。なお、施設都合等により、幼保小連携活動が未実施の就学前施設については、ブロック会議等で実施を促していく。

１ 第１ブロック

千住地域の小学校６校及び就学前施設２７園で活動している。主な活動として、体験給食（２４園実施）や交流活動（２３園実施）等を実施している。

（１）第１ブロック連携校・園・取組内容

小学校	就学前施設	①	②	③	④	⑤
千寿	足立幼稚園	○			○	
	緑町保育園	○			○	○
	うぃず千住大橋駅前保育園	○		○		
	クレアナーサリー千住大橋	○			○	
	アイグラン保育園千住大橋	○		○	○	
	まなびの森保育園千住大橋	○		○	○	○
千寿本町	中条幼稚園	○		○	○	
	ステラ千住ふたば保育園	○		○	○	
	Ｊキッズルミネ北千住保育園	○		○	○	○
千寿双葉	千住寿幼稚園*					
	元宿こども園	○	○	○	○	○
	北千住もみじの森保育園	○	○	○		○
	千住保育園					○
千寿常東	聖和幼稚園	○		○	○	
	日ノ出町保育園	○		○	○	○
	北千住どろんこ保育園	○		○	○	○
	キッズガーデン足立柳原	○	○	○	○	○
	北千住太陽保育園	○	○	○	○	○
千寿桜	北千住こども園	○			○	○
	たんぽぽ保育所北千住園	○	○	○	○	○
	帝京科学大学千住桜木保育園	○	○	○	○	○

*施設都合により調整ができなかったため、未実施

①体験給食：学校給食の準備や配膳、食事、後片付けなど小学校の給食を体験する取組

②体験授業：小学校の授業を体験したり、小学校の教員と交流したりする取組

③学校探検：教室や図書室、校庭など、これから通う小学校の環境を見学する取組

④交流活動：児童と園児との交流活動や、音楽会や展覧会などを見学する取組

⑤交流研修：教員と保育者との研修会や校長講話等の取組

小学校	就学前施設	①	②	③	④	⑤
千寿第八	千住あずま保育園	○		○	○	○
	せきや保育園			○	○	○
	ｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙうぃず千住曙町保育園	○			○	○
	アスク千住保育園	○		○	○	
	まなびの森保育園関屋	○			○	
	ぽけっとランド千住曙町	○			○	

①体験給食：学校給食の準備や配膳、食事、後片付けなど小学校の給食を体験する取組

②体験授業：小学校の授業を体験したり、小学校の教員と交流したりする取組

③学校探検：教室や図書室、校庭など、これから通う小学校の環境を見学する取組

④交流活動：児童と園児との交流活動や、音楽会や展覧会などを見学する取組

⑤交流研修：教員と保育者との研修会や校長講話等の取組

（２）主な取組事例

【参加校・園】千寿双葉小学校・元宿こども園

ア　音楽会リハーサル見学

①　１１月に体育館で、音楽会のリハーサルを見学した。

②　児童の歌い方や声の迫力を肌で感じ、「こんな風に大きな声で歌いたい」と、憧れの気持ちが生まれた。

③　金管バンドの演奏やピアニカ、リコーダーなど、様々な楽器を使った合奏を聴く。「木琴を作りたくなった」と話す子どもいるなど、良い刺激となった。

④　見学後、歌に臨む姿勢が変わった。また、園の楽器を見ながら手作り楽器を作る園児もいた。

⑤　学校長自らが校内を案内したり、児童に温かく迎えてもらったりしたことで学校を身近に感じることができ、就学への憧れと期待が高まった。





【参加校・園】千寿常東小学校・聖和幼稚園・日ノ出町保育園・北千住どろんこ保育園・キッズガーデン足立柳原・北千住太陽保育園

イ　学校探検

①　体育館で１年生が言葉と歌で迎えてくれた。「ドキドキドン！一年生」の歌を知っている園児が一緒に口ずさむ姿が見られた。

②　１年生の教室でランドセル体験をした。タブレットの保管庫に一人ひとりのタブレットが並んでいるのを見て、圧倒されていた。

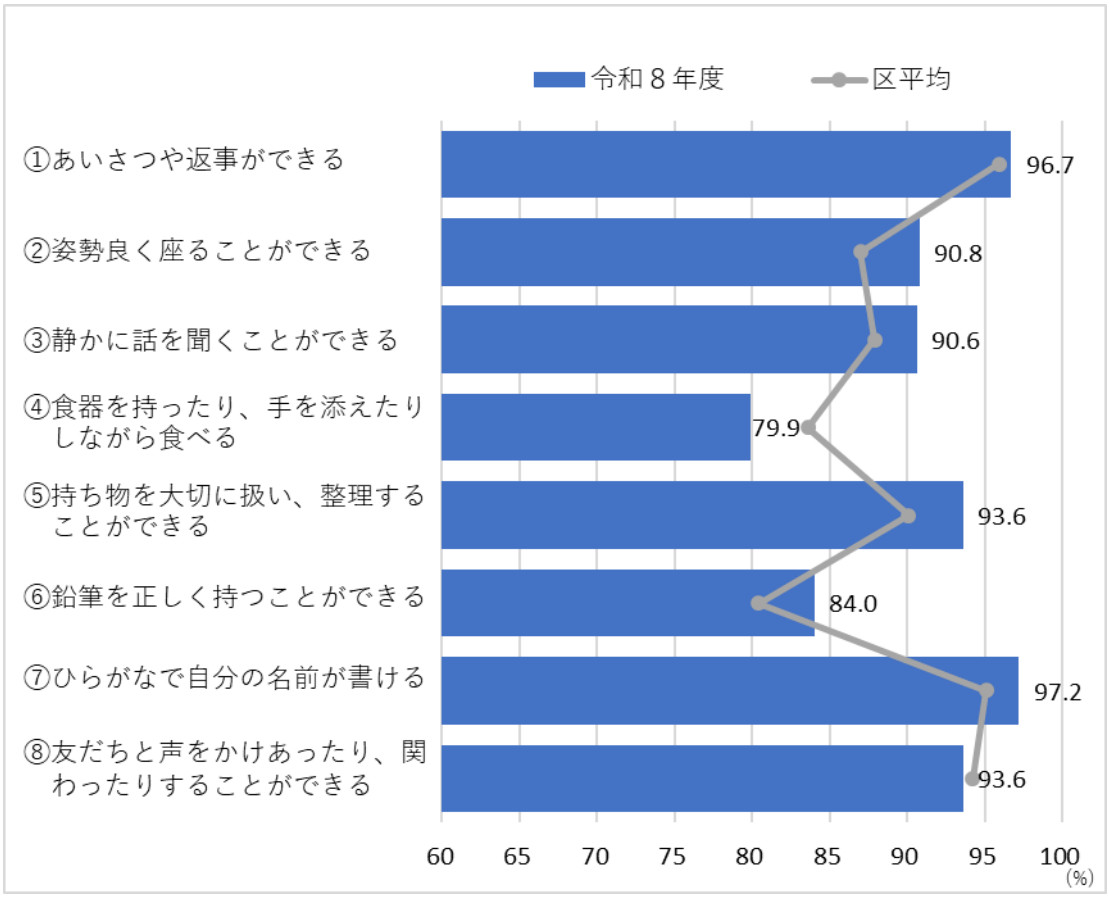
③　図書室にはたくさんの本や絵本、図鑑などがあることを知る。また、貸出などの利用方法を教えてもらった。

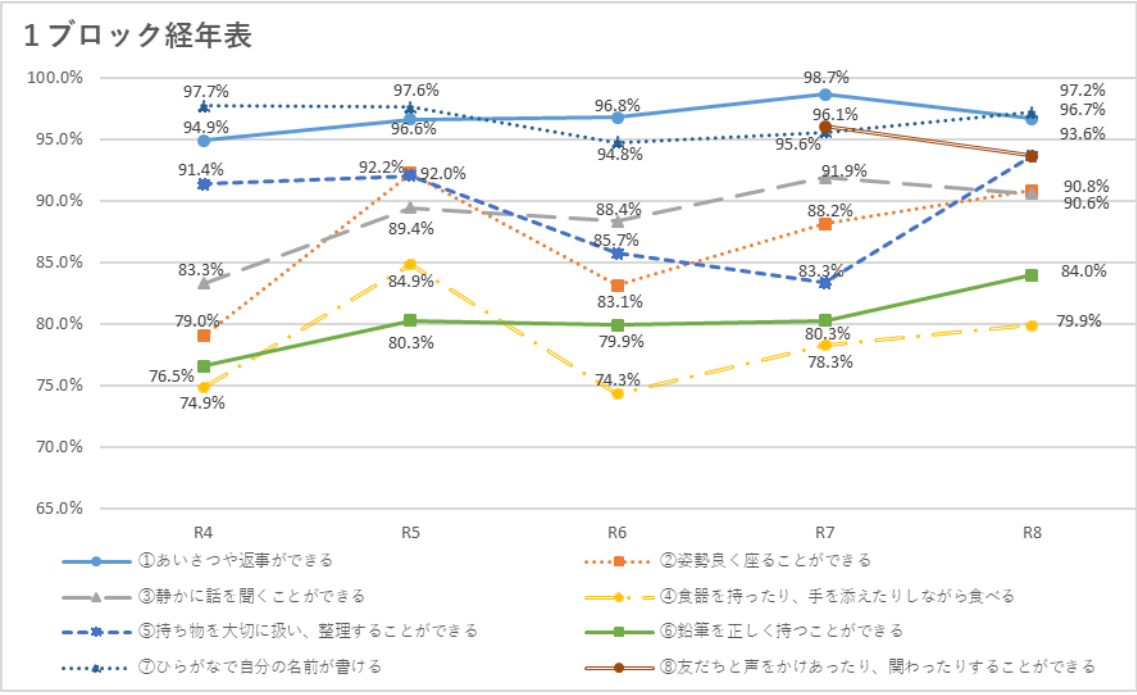
④　就学間近の２月に交流を行ったことで小学校のイメージが具体的になり、就学への期待が高まった。





（３）小学校第１学年の生活・学習習慣に関するアンケートブロック別結果





（４）アンケートの結果を受けた課題及び取組方針

６項目で区全体平均を上回っている。特にアンケート②「姿勢良く座ることができる」は区全体平均より３．８ポイント上回っている。ブロック会議では、アンケート内容にも関わる以下の課題について取組方針を検討した。

課題	友だちと関わっている姿の認識を共有する
取組方針	（ア）架け橋期デザインシートを使用し、幼保小の子どもの育ちについて立場を超えて共通認識をもち、交流活動を行う。
課題	挑戦する気持ちを育てる
取組方針	（ア）成功体験だけでなく試行錯誤したり失敗したりする体験もできるようにする。 （イ）スモールステップで乗り越えられたという経験を積み重ねることで、挑戦しようという意欲を幼児期から少しずつ育んでいく。
課題	考えたことを表現する力を育てる
取組方針	（ア）幼児期に経験しているサークルタイムやこども会議などの活動を小学校でも取り入れることで、安心できる環境の中で一人ひとり発言する機会を増やし、自分の考えたことを表現できるようにする。
課題	主体的に考える機会を増やす
取組方針	（ア）保育者・教員が子どもに問い返しすることを大切にし、自分で考える機会を増やす。自分で選択する機会を増やせるような環境づくりを行う。

２　第２ブロック

扇・江北・宮城地域等の小学校３校及び就学前施設１２園で活動している。主な活動として、体験給食（１１園実施）や交流活動（９園実施）等を実施している。

（１）第２ブロック連携校・園・取組内容

小学校	就学前施設	①	②	③	④	⑤
江北	足立サレジオ幼稚園	○	○		○	
	江北さくら幼稚園*					
	上沼田保育園	○	○	○	○	○
	江北保育園	○			○	○
	にじいろ保育園江北	○	○	○	○	○
	江北すきっぷ保育園	○	○	○	○	
扇	AIAI NURSERY 高野	○		○		○
	大空と大地のなーさりぃ扇大橋園	○				
	さつき保育園	○		○	○	
宮城	東京白百合幼稚園	○	○	○	○	○
	宮城保育園	○		○	○	○
	三星保育園	○	○	○	○	

*施設都合により調整ができなかったため、未実施

①体験給食：学校給食の準備や配膳、食事、後片付けなど小学校の給食を体験する取組

②体験授業：小学校の授業を体験したり、小学校の教員と交流したりする取組

③学校探検：教室や図書室、校庭など、これから通う小学校の環境を見学する取組

④交流活動：児童と園児との交流活動や、音楽会や展覧会などを見学する取組

⑤交流研修：教員と保育者との研修会や校長講話等の取組

（２）主な取組事例

【参加校・園】宮城小学校・東京白百合幼稚園・宮城保育園・三星保育園

ア　体験授業

① ２月に近隣３園の園児が宮城小学校を訪れた。体育館で行われた「歓迎の集い」では、１年生が元気に出迎え、レクリエーションを実施した。

② 最初は緊張していた園児たちも、１年生の明るいリードによって次第に笑顔になり、安心して交流を深めることができた。

③ 教室への移動後は、１年生主体で小学校生活の紹介を行った。学習体験では、１年生が園児一人ひとりに寄り添い、鉛筆の正しい持ち方を優しく教えたり、一緒に文字を書いたりした。

④ 学校生活に関するクイズでは、「授業中は静かにする」といったルールを楽しく伝え、図書室や保健室などの校内を案内した。

⑤ ランドセルを実際に背負って一緒に歩く体験も行い、園児が「４月からの自分の姿」を具体的に想像できるよう、細やかな配慮と工夫を凝らした活動となった。

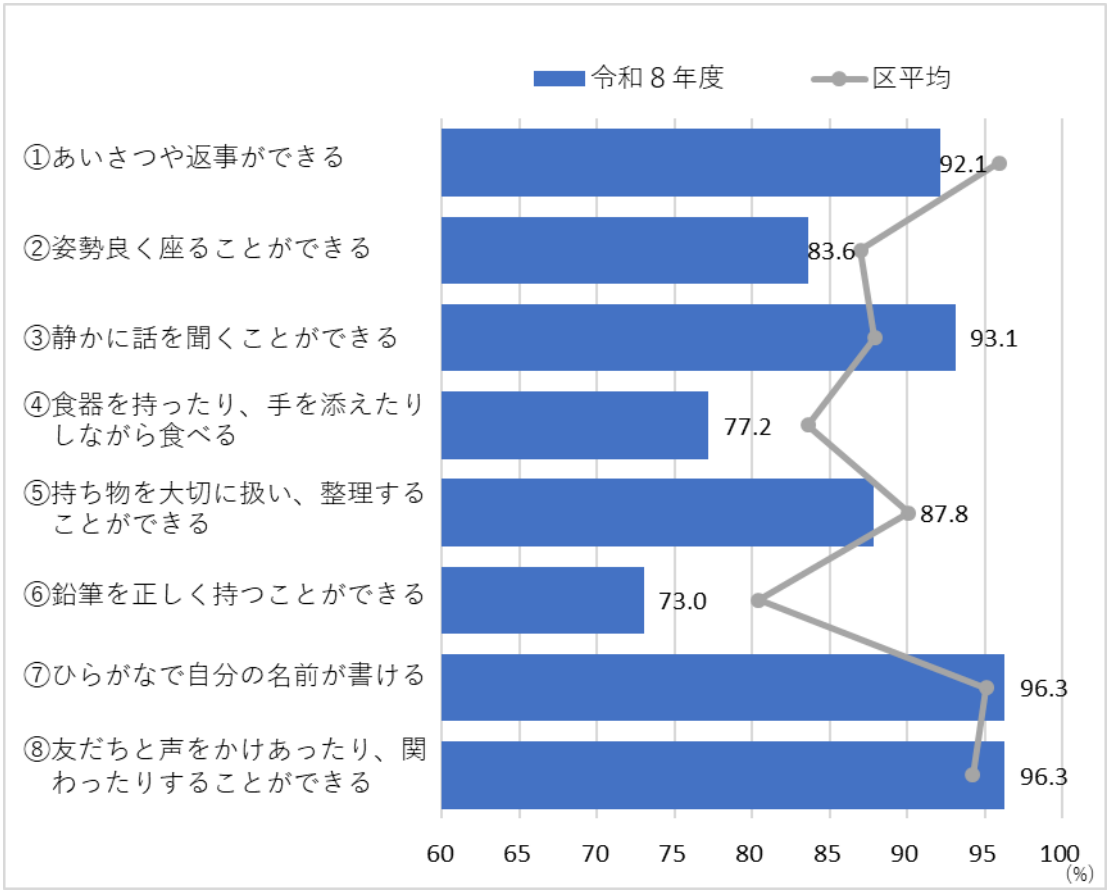
⑥ 本活動を通し、園児は小学校の環境やルールに直接触れることで、入学への不安を期待と自信に変えることができた。

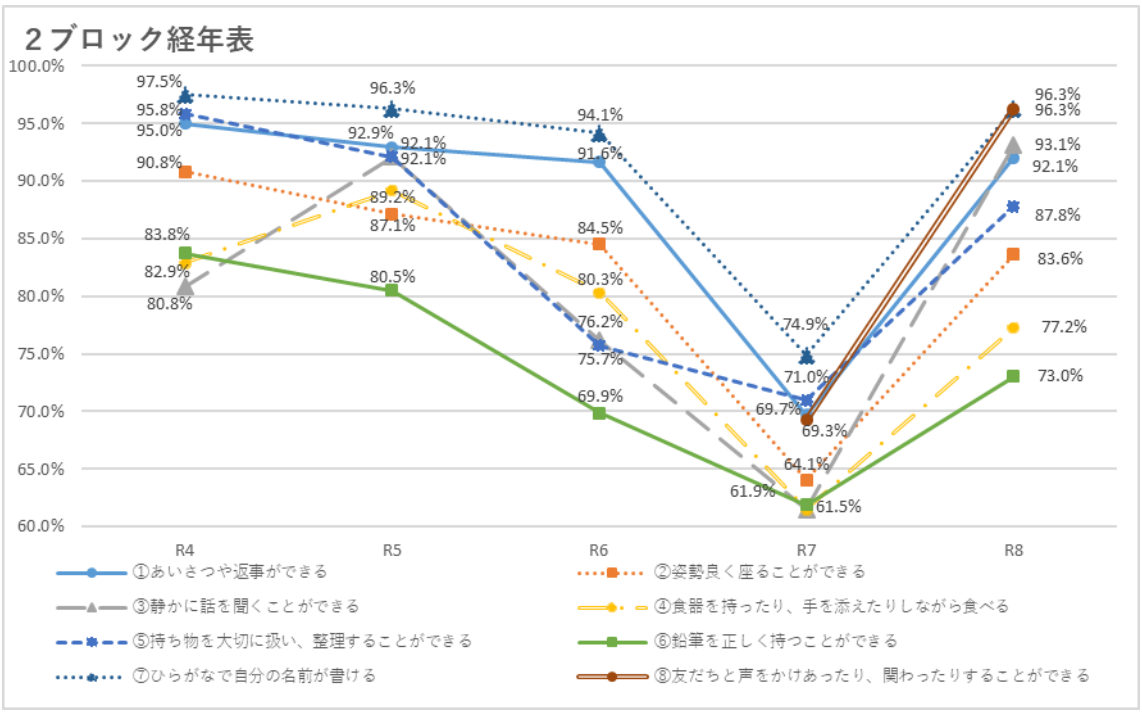
⑦ １年生にとっては、案内役を務めることで２年生になる自覚が芽生え、自己有用感や自身の成長を実感する機会となった。

⑧ 小学校側は入学を控えた園児の集団における実態を事前に把握でき、個別の指導や円滑なスタートカリュラムの構築に向けた実りある情報共有の場となった。



（３）小学校第１学年の生活・学習習慣に関するアンケートブロック別結果





（４）アンケートの結果を受けた課題及び取組方針

５項目で区全体平均を下回っているが、すべての項目で昨年度から数値が上昇している。特にアンケート⑧「友だちと声をかけあったり、関わったりすることができる」は、２７．０ポイント上昇し、区全体平均を上回った。ブロック会議では、アンケート⑥「鉛筆を正しく持つことができる」を中心に取組方針を検討した。

課題	アンケート⑥（鉛筆の持ち方）
取組方針	（ア）指先を使う遊びを日頃から取り入れていく。 （イ）鉛筆を持つときは正しい持ち方を継続的に伝えていく。
課題	母の心配が大きく子どもに任せることが難しい（母子分離）
取組方針	（ア）子どもの意欲や取り組んでいる姿勢を随時伝えながら、保護者の安心感を引き出していく。

３　第３ブロック

西新井・西新井本町・本木東地域等の小学校５校及び就学前施設１８園で活動している。主な活動として、体験給食（１３園実施）や交流活動（１３園実施）等を実施している。

（１）第３ブロック連携校・園・取組内容

小学校	就学前施設	①	②	③	④	⑤
西新井	西新井幼稚園			○	○	
	興野保育園	○			○	○
	西新井教会保育園	○		○	○	○
	いづみ保育園*					
西新井第一	西新井聖華保育園					○
	愛恵保育園にしあらい	○	○		○	
	チェリッシュ西新井	○			○	
興本	興南幼稚園*					
	興本保育園	○	○		○	○
	キッズガーデン足立興野	○			○	○
	アスク扇保育園	○	○	○	○	○
本木	足立愛育幼稚園*					
	第一若草幼稚園	○			○	
	本木保育園	○	○	○	○	○
	本木東保育園	○	○	○	○	○
寺地	足立双葉幼稚園	○	○		○	
	キッズガーデン足立扇	○	○	○	○	
	扇こころ保育園	○	○	○		

*施設都合により調整ができなかったため、未実施

①体験給食：学校給食の準備や配膳、食事、後片付けなど小学校の給食を体験する取組

②体験授業：小学校の授業を体験したり、小学校の教員と交流したりする取組

③学校探検：教室や図書室、校庭など、これから通う小学校の環境を見学する取組

④交流活動：児童と園児との交流活動や、音楽会や展覧会などを見学する取組

⑤交流研修：教員と保育者との研修会や校長講話等の取組

（２）主な取組事例

【参加校・園】本木小学校・本木保育園・本木東保育園

ア　どんぐりおもちゃまつり

① １年生の生活科の学習で、どんぐりを使っておもちゃを製作し園児を招待して「どんぐりまつり」を開いた。

② 園児に楽しんでもらえるように、遊び方や説明の仕方など様々な工夫をして頑張る姿があった。みんな笑顔で大成功の「どんぐりまつり」となった。

③ 困ったときには、１年生に聞く姿がみられた。作ったもので一緒に遊んだり、遊び方を教えてもらったりするなど、深い交流となった。

④ デジタル時計を利用してのカウントダウンは分かりやすく、１年生が「あと１０分だ」と時間を把握する姿を見て、園児も時間を意識する姿があった。





イ　幼保小合同研修

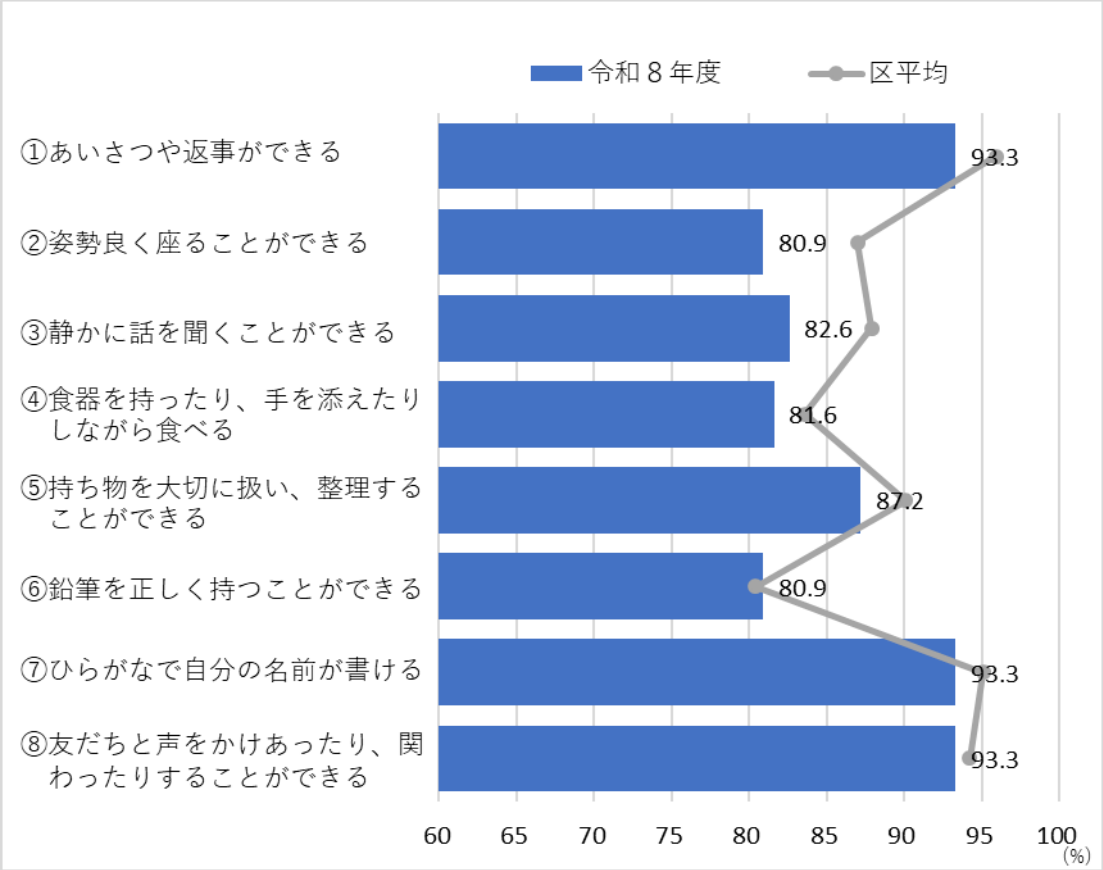
① 「子どもが自ら関わりたくなるような環境づくり～　子どもの見ている世界を感じ取りながらともに楽しむ　～」をテーマに幼保小合同研修を実施した。

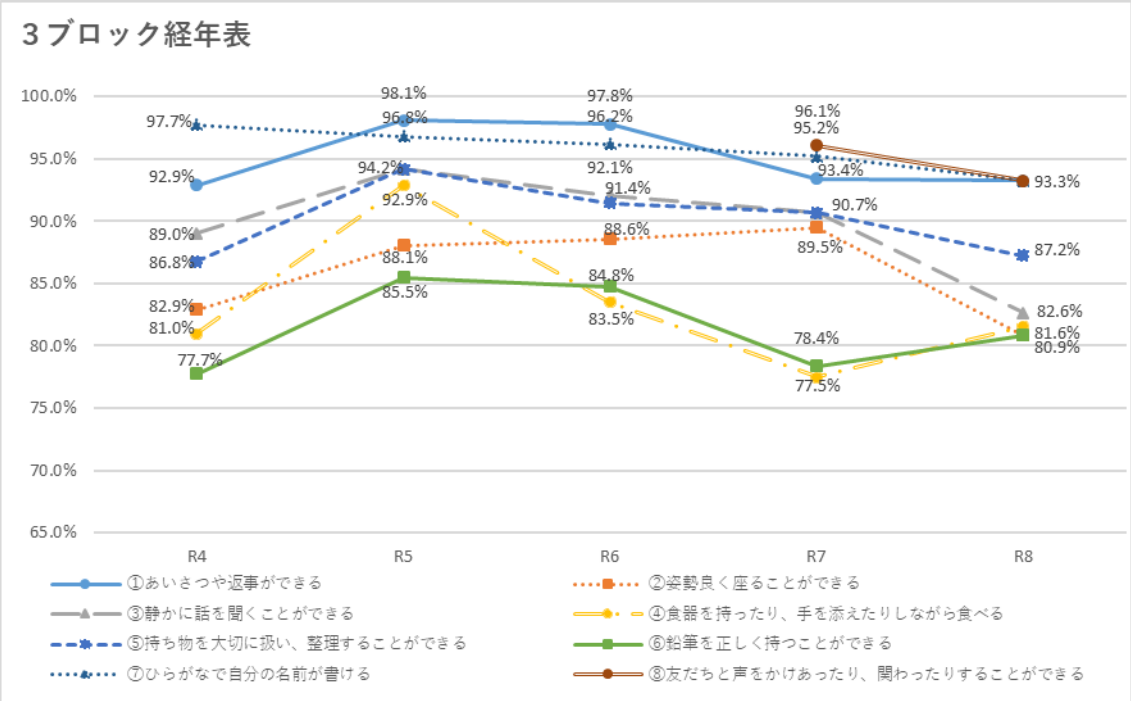
② 子どもの体験格差が深刻化している実情を参加者で共有した。遊びや授業の中で多様な経験ができるよう各施設で保障していくことの重要性を学んだ。

③ 子どもがやりたいことを実現でき、繰り返し試行錯誤できる環境を整えるには、人的環境である周囲の大人の働きかけが重要であり、子どもと共に面白がることが不可欠であると再確認できた。



（３）小学校第１学年の生活・学習習慣に関するアンケートブロック別結果





（４）アンケートの結果を受けた課題及び取組方針

７項目で区全体平均を下回っている。特にアンケート②「姿勢良く座ることができる」は区全体平均より６．１ポイント下回っている。ブロック会議では、アンケート②「姿勢良く座ることができる」を中心に取組方針を検討した。

課題	アンケート②（姿勢良く座る）
取組方針	（ア）椅子に座るときの「グー・ペタ・ピン」を意識させる。 （イ）椅子の高さ調整に留意する。
課題	アンケート③（静かに話を聞く）
取組方針	（ア）聞く姿勢や手順を子どもたちと確認していく。 （イ）「耳だけでなく目と心でも聞こう」「相手の方を見て聞こう」などの言葉がけや視覚情報を工夫していく。
課題	アンケート⑤（持ち物の整理）
取組方針	（ア）「持ち物に記名する」「家庭でも持ち物の準備を子どもと一緒にする」などを保護者に依頼していく。 （イ）発達段階に応じて、自分の持ち物を自身で整理・管理できるようにしていく。 （ウ）小学校では、毎日下校時に机の中の道具箱を机上に出すなどして、整理整頓を意識させていく。
課題	アンケート⑧（友だちとの関わり）
取組方針	（ア）人と関わる子どもたちの活動を意図的に行っていく。 （イ）トラブルは成長のチャンスと捉えながら指導していく。

４　第４ブロック

梅田･梅島･関原地域等の小学校７校及び就学前施設２２園で活動している。主な活動として、交流研修（１７園実施）や交流活動（１６園実施）等を実施している。

（１）第４ブロック連携校・園・取組内容

小学校	就学前施設	①	②	③	④	⑤
関原	橘幼稚園					○
	専念寺幼稚園			○	○	
	足立ひまわり保育園	○		○		○
	たんぽぽ保育所西新井南園	○		○	○	○
梅島	梅島幼稚園			○		○
	うめだ「子供の家」			○	○	○
	バンビ保育園梅島園				○	
	エーワン梅島保育園				○	
	ﾐｱﾍﾙｻ保育園ひびき西新井				○	○
梅島第一	こだま幼稚園			○		○
	島根保育園				○	
	にじいろ保育園梅島	○	○	○	○	
梅島第二	八千代幼稚園	○		○		○
	梅田保育園	○	○	○	○	○
	親隣館保育園	○			○	○
島根	栗原つくし保育園	○			○	○
	島根いちい保育園	○				○
	キッズガーデン足立島根	○			○	○
亀田	中部ひまわり保育園	○		○	○	○
	ミアヘルサ保育園ひびき梅島	○	○		○	○
栗原	西新井きらきら保育園	○	○	○	○	○
	ちゃいれっく西新井駅前保育園	○	○	○	○	○

①体験給食：学校給食の準備や配膳、食事、後片付けなど小学校の給食を体験する取組

②体験授業：小学校の授業を体験したり、小学校の教員と交流したりする取組

③学校探検：教室や図書室、校庭など、これから通う小学校の環境を見学する取組

④交流活動：児童と園児との交流活動や、音楽会や展覧会などを見学する取組

⑤交流研修：教員と保育者との研修会や校長講話等の取組

（２）主な取組事例

【参加校・園】梅島第二小学校・八千代幼稚園・梅田保育園・親隣館保育園

ア　遊び交流

① 体育館で５年生と少人数に分かれて手作りのコーナーで遊ぶ。

② 受付で５年生が名札を作る様子を興味深く見たり、児童の名札を読み、「〇〇ちゃんと同じ字だね」と気付いたりしていた。

③ ５年生は、園児に遊びたい場所を積極的に聞き案内をするなど気持ちに寄り添いながら接する姿が見られた。

④ 園児は、ゲームで高得点が出ると、「やったー」と喜んだり、友だちの応援をしたりと、楽しむ様子が見られた。

⑤ 帰るとき、折り紙で作った作品をもらった。その後、園で折り紙遊びが始まるなど、交流が児童への憧れの気持ちや、就学への期待につながった。

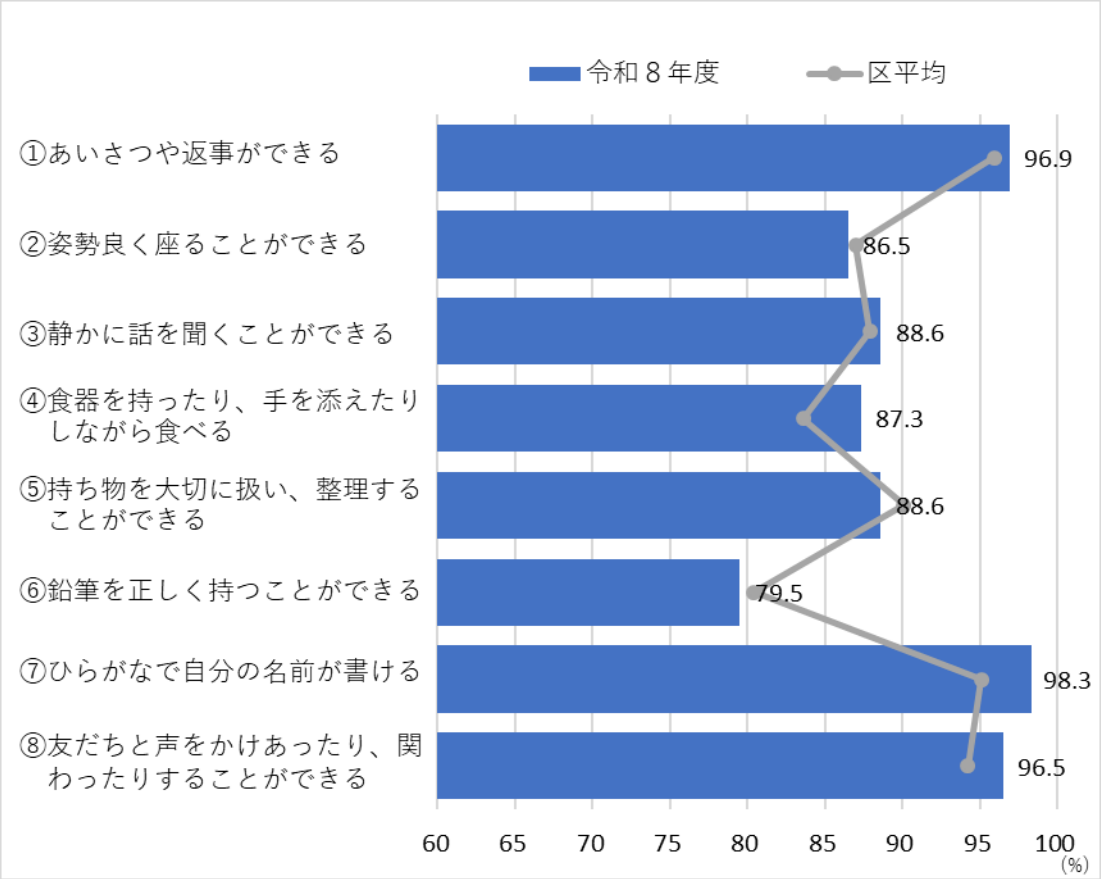


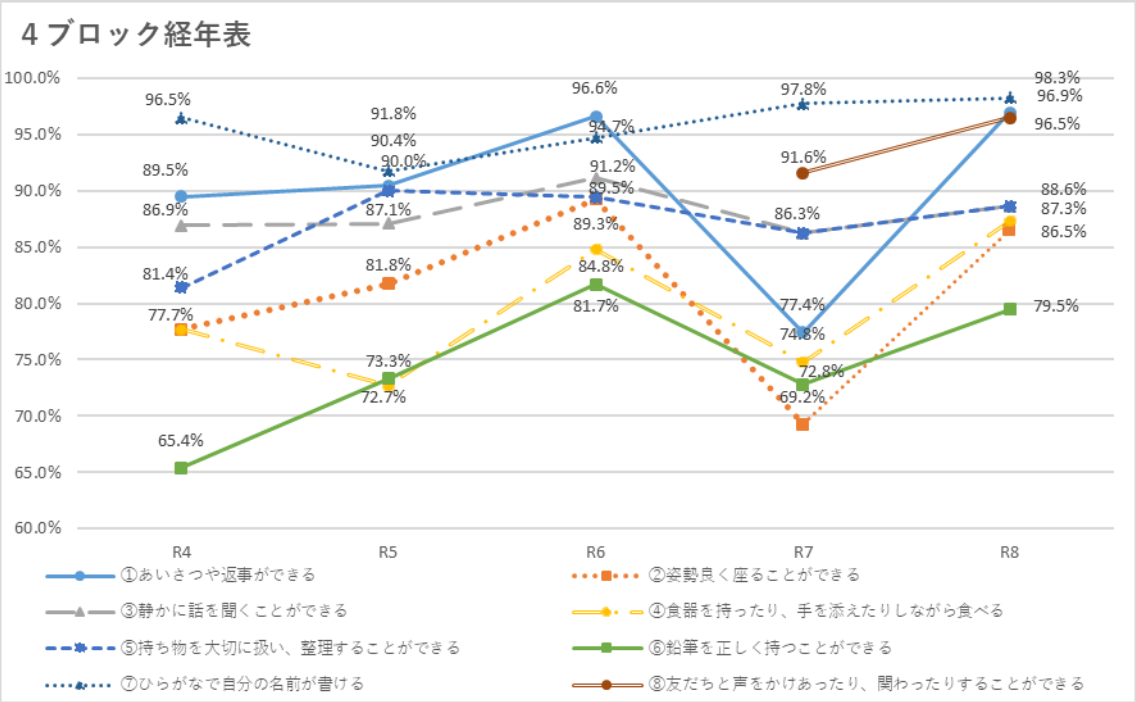






（３）小学校第１学年の生活・学習習慣に関するアンケートブロック別結果





（４）アンケートの結果を受けた課題及び取組方針

５項目で区全体平均を上回っている。特に、アンケート④「食器を持ったり、手を添えたりしながら食べる」は区全体平均より３．７ポイント上回っている。ブロック会議では、区平均を下回っている項目のうち、アンケート②「姿勢良く座ることができる」及びアンケート⑥「鉛筆を正しく持つことができる」を課題とし、取組方針を検討した。

課題	アンケート②（姿勢良く座る） （ア）４５分間、姿勢を保つことが難しい。
取組方針	（ア）１０～１５分程度、集中する工夫をする。 （イ）就学前施設でグー・ペタ・ピンの掲示や声掛けを行う。 （ウ）走る・止まる・跳ぶ・投げるなどの粗大運動を保育に取り入れ、体力や体幹を育てる。
課題	アンケート⑥（鉛筆の持ち方） （ア）正しい持ち方をしている子どもが少ない。 （イ）１年生のころに癖がつくと高学年になっても変わらない。
取組方針	（ア）正しく持っているか定期的に見ていく。 （イ）低学年から定着できるようにする。動画を利用して正しい持ち方を知らせながら指導する。

５　第５ブロック

足立・弘道・中央本町地域等の小学校４校及び就学前施設１７園で活動している。主な活動として、体験給食（１１園実施）や学校探検（１２園実施）等を実施している。

（１）第５ブロック連携校・園・取組内容

小学校	就学前施設	①	②	③	④	⑤
足立	春光幼稚園	○	○		○	○
	高和保育園	○				○
	子ひばり保育園	○			○	
	五反野保育園	○	○		○	○
	Aloha International Preschool 北千住校			○		○
弥生	城北幼稚園	○		○		○
	中央本町保育園	○		○	○	○
	足立さくらんぼ保育園	○		○	○	○
	やよい保育園	○		○	○	○
	ぱる★キッズ足立	○		○	○	
弘道	弘道幼稚園*					
	五反野幼稚園		○	○		○
	ﾄﾚｼﾞｬｰｷｯｽﾞあやせ保育園			○		
	西綾瀬りりおっこ保育園			○		
弘道第一	のぞみ幼稚園			○	○	○
	聖華こうどう保育園	○		○	○	
	キッズガーデン足立青井	○		○	○	

*施設都合により調整ができなかったため、未実施

①体験給食：学校給食の準備や配膳、食事、後片付けなど小学校の給食を体験する取組

②体験授業：小学校の授業を体験したり、小学校の教員と交流したりする取組

③学校探検：教室や図書室、校庭など、これから通う小学校の環境を見学する取組

④交流活動：児童と園児との交流活動や、音楽会や展覧会などを見学する取組

⑤交流研修：教員と保育者との研修会や校長講話等の取組

（２）主な取組事例

【参加校・園】弘道第一小学校・聖華こうどう保育園

ア　学校探検・体験給食

①　１１月に学校探検及び体験給食を行った。１年生の教室の環境や雰囲気を感じた。授業の中では学校紹介の作文を読んでくれた。個別の机や椅子に興味を示していた。

②　１年生と手をつなぎ学校探検をした。たくさんの教室を見て園児は驚いていた。特に図書室にあった本をもっと見たかったようだった。

③　体験給食では、配膳の方法、牛乳の飲み方や片付け方を教えてもらった。美味しい給食と小学校への期待が高まった。





イ　展覧会見学

①　１２月に展覧会見学を行った。会場では１年生が様々な作品を紹介してくれた。園に戻ると「こんなの作ってみたい」とたくさん声が出て、主体性の幅が広がった。

ウ　校庭体験

①　１月に、お正月遊びとして校庭にて凧揚げをした。小学生に空高く上がる凧を見てもらおうと、一生懸命駆け巡る姿が見られた。

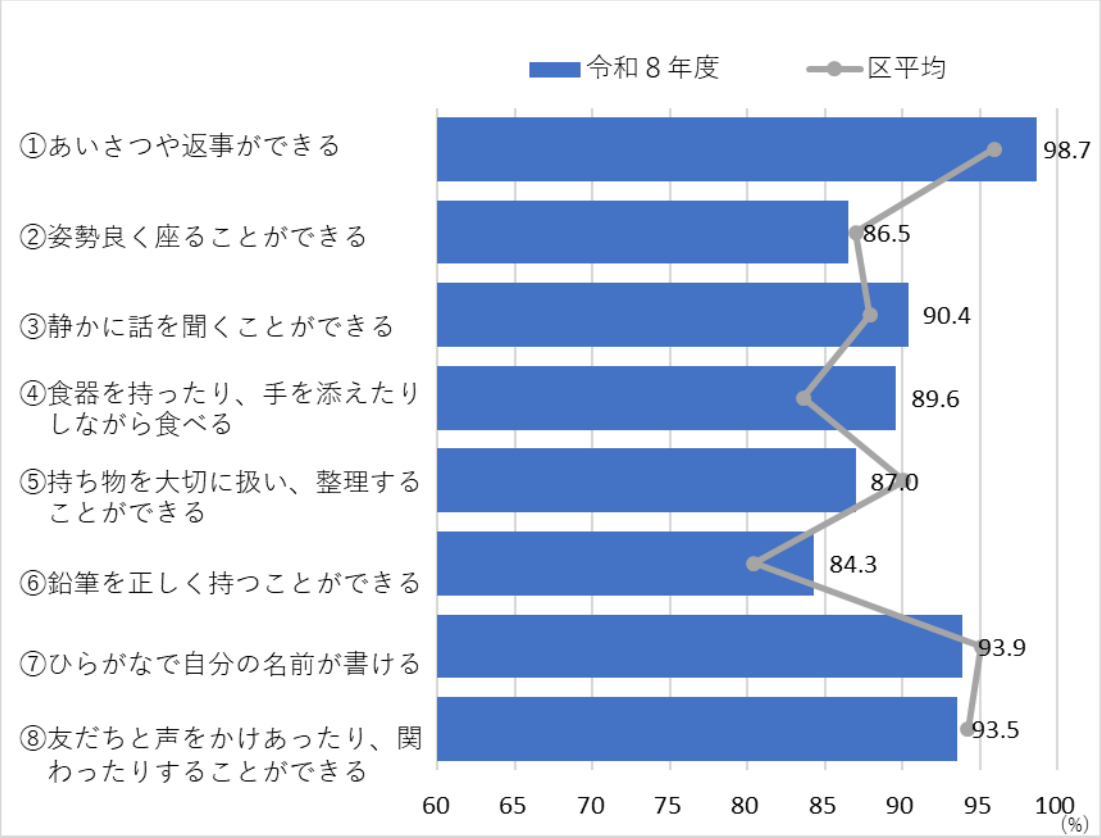
エ　お店屋さんごっこ

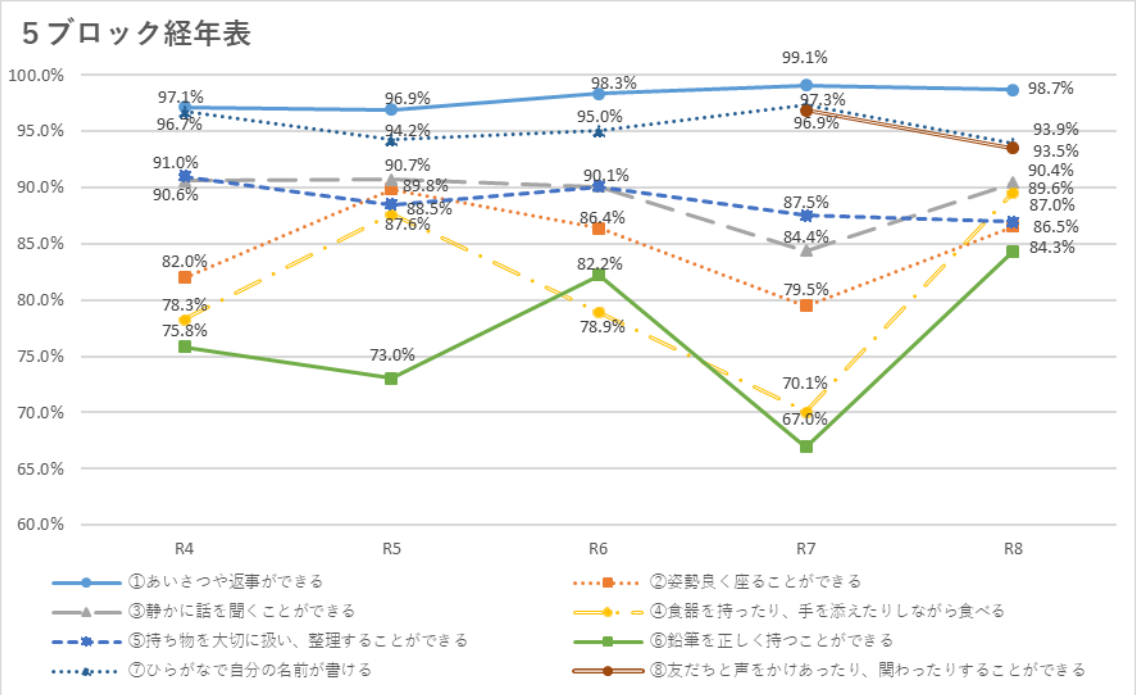
①　１年生と一緒にお店屋さんごっこを楽しんだ。保育園での経験を活かして、遊びが展開されていた。





（３）小学校第１学年の生活・学習習慣に関するアンケートブロック別結果





（４）アンケートを受けた課題及び取組方針

４項目で区全体平均を上回っている。特に、アンケート④「食器を持ったり、手を添えたりしながら食べる」は昨年度に比べ、１９．５ポイント上昇しており、区全体平均より５．９ポイント上回った。ブロック会議では、アンケート②「姿勢良く座ることができる」、アンケート③「静かに話を聞くことができる」及びアンケート⑤「持ち物を大切に扱い、整理することができる」について取組方針を検討した。

課題	アンケート②（姿勢良く座る） （ア）姿勢の保持が難しい。
取組方針	（ア）姿勢保持ができるようバランス感覚を育てる遊びを取り入れる。 （イ）全身を使った運動や遊びを通して十分に体を動かす。
課題	アンケート③（静かに話を聞く） （ア）話に集中できずにやるべきことが分からない。
取組方針	（ア）話す人に注目させてから話し始める。 （イ）わかりやすく話すようにする。 （ウ）絵本の読み聞かせなどで話を聞く面白さを味わう経験ができるようにする。
課題	アンケート⑤（持ち物の整理） （ア）自分の物が分からなくなってしまう。
取組方針	（ア）自分の名前は読めるようにする。 （イ）自分の物を決まった場所に置く習慣をつける。

６　第６ブロック

綾瀬・東和・中川地域の小学校７校及び就学前施設２４園で活動している。主な活動として、体験給食（１６園実施）や交流研修（２２園実施）等を実施している。

（１）第６ブロック連携校・園・取組内容

小学校	就学前施設	①	②	③	④	⑤
綾瀬	足立白うめ幼稚園			○		○
	あやせ保育園			○	○	○
	東部若葉保育園			○		
	チェリッシュ綾瀬保育園			○	○	○
	キッズガーデン足立綾瀬			○	○	
	コンビプラザ綾瀬保育園				○	○
東綾瀬	東綾瀬保育園	○	○		○	○
	足立若葉保育園	○	○		○	○
	東綾瀬きらきら保育園	○	○		○	○
	あやせババール園	○	○		○	○
	恵・ＹＯＵ保育園	○	○		○	○
東加平	チェリー幼稚園	○				○
	北綾瀬聖華保育園		○		○	○
	にじいろ保育園綾瀬				○	○
東渕江	東保育園	○			○	○
	チェリー保育園	○				○
	聖母のさゆり保育園	○		○		○
	ソラストあだち東和保育園	○		○	○	○
	どんぐり保育園東和	○			○	○
北三谷	親愛幼稚園	○		○		○
	美松学園幼稚園	○		○		
	東和保育園	○				○
	HOPPA 東和親水	○		○	○	○
大谷田	隅田学園*			○		○
長門	隅田学園*	○			○	○

*保育園の隅田学園は２校と連携している。

①体験給食：学校給食の準備や配膳、食事、後片付けなど小学校の給食を体験する取組

②体験授業：小学校の授業を体験したり、小学校の教員と交流したりする取組

③学校探検：教室や図書室、校庭など、これから通う小学校の環境を見学する取組

④交流活動：児童と園児との交流活動や、音楽会や展覧会などを見学する取組

⑤交流研修：教員と保育者との研修会や校長講話等の取組

（２）主な取組事例

ア　幼保小合同研修会

①　大学助教授を講師に招き、架け橋プログラムの本質「園と学校が何をお互いに大切にするかを考える」をテーマに、合同研修を実施した。

②　研修では「できた／できない」の成果ではなく、育ちの“文脈”を引き継ぐことが真の連続性であるということを共有した。

③　「子どもが変わるのではなく大人の理解が変わること」「引継ぎではなく翻訳する」「情報ではなく物語をつなぐ」ことが架け橋の本質であることを学び、「なにが大切かを学んだ。実践に生かしていきたい」という前向きな意見が寄せられた。





【参加校・園】東綾瀬小学校・東綾瀬保育園・足立若葉保育園・東綾瀬きらきら保育園・あやせババール園・恵・ＹＯＵ保育園

イ　交流活動・遊び交流

①　２月に５園合同で東綾瀬小学校の１年生と交流を行った。「はじめの会」でペアになった児童と一緒に行動した。

②　自己紹介の後、昔遊び（お手玉、コマ回し、けん玉）を教えてもらったりランドセルを背負わせてもらったりする交流と、１年生が作ってくれた問題を一緒に解く授業体験をした。

③　同じ子どもと一緒に過ごしていくことで、子どもたちの表情が和らぎ、楽しむ姿がみられた。

④　「おわりの会」では、感想を互いに自分の言葉で伝え合った。

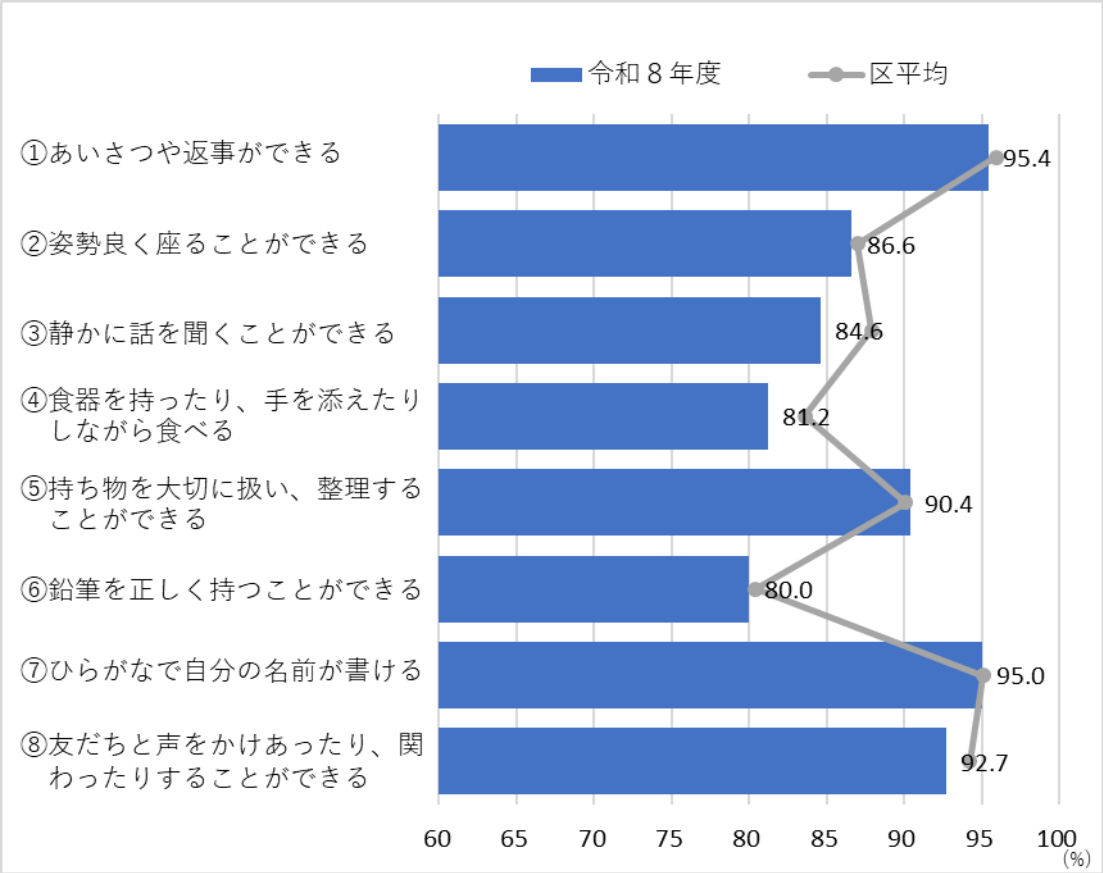
⑤　交流後は、教えてもらったけん玉やコマ回しに繰り返し挑戦したり、１年生が作ってくれた問題を真似してノートを作って学校ごっこをしたりする姿が増えた。

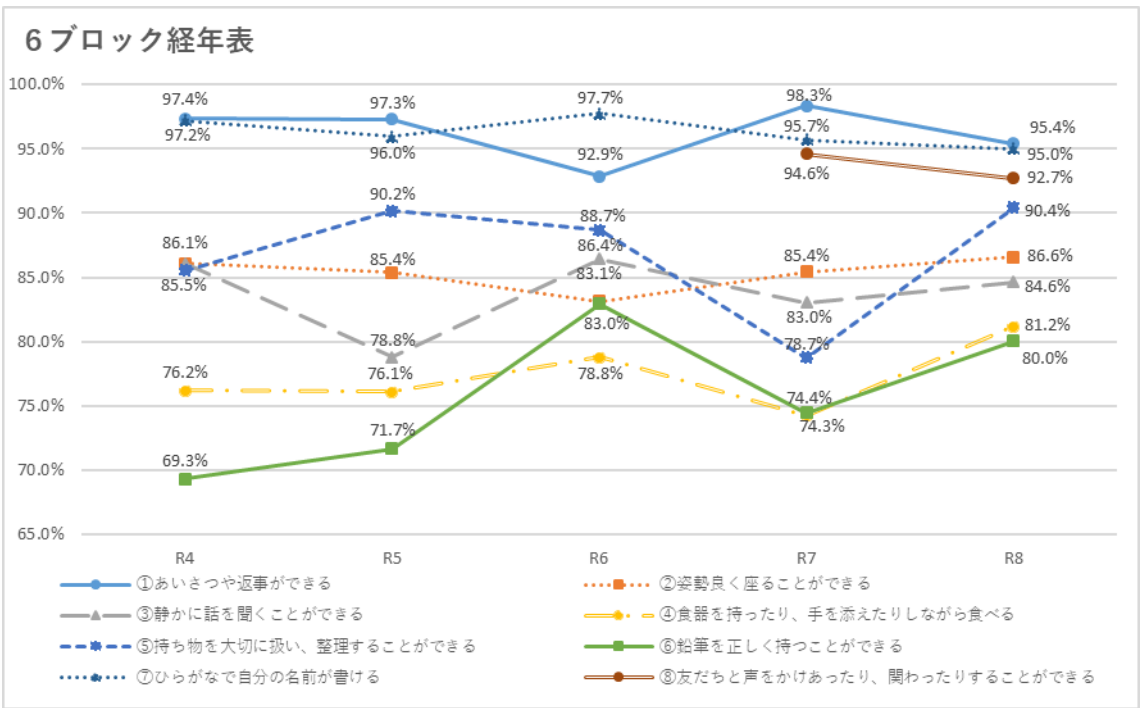
⑥　この時期だからこそ、就学への期待がさらに高まった。





（３）小学校第１学年の生活・学習習慣に関するアンケートブロック別結果





（４）アンケートの結果を受けた課題及び取組方針

７項目で区全体平均を下回っていたが、アンケート⑤「持ち物を大切に扱い、整理することができる」は、昨年度に比べ、１１．７ポイント上昇し、区全体平均を上回った。ブロック会議では、アンケート②「姿勢良く座ることができる」を中心に取組方針を検討した。

課　題	アンケート②（姿勢良く座る）
取　組 方　針	（ア）体幹トレーニングを取り入れる。 （イ）背もたれのない椅子に座らせる。 （ウ）最初に声をかける。崩れてきたら、また声をかける。 （エ）「グー・ペタ・ピン」の合言葉で、引き続き指導する。
課　題	アンケート③（静かに話を聞く）
取　組 方　針	（ア）話を聞くことの大切さを知らせ、相手の話に意識を向けて聞く力を育てる。 （イ）集中する時間をつくり、メリハリを付けて指導する。
課　題	アンケート④（食器の持ち方）
取　組 方　針	（ア）食器の持ち方や食べ方を引き続き指導する。 （イ）箸の持ち方や使い方を引き続き指導する。 （ウ）家庭にも協力を呼びかける。
課　題	アンケート⑧（友だちとの関わり）
取　組 方　針	（ア）良い関わり方を紹介したり、例示したりする。 （イ）席替えをして関わる頻度を高くする。教員から「声をかけ合おう」と助言する。 （ウ）グループの話し合い活動の機会を設定し、必要な援助を行いながら、関わりを広げる。 （エ）お泊まり保育で役割をつくる。サークルタイムで計画を立てさせる。

７　第７ブロック

大谷田・六木・谷中地域等の小学校５校及び就学前施設１５園で活動している。主な活動として、体験給食（１１園実施）や学校探検（９園実施）等を実施している。

（１）第７ブロック連携校・園・取組内容

小学校	就学前施設	①	②	③	④	⑤
中川	大谷田第一保育園	○	○	○	○	○
	足立北綾瀬雲母保育園	○			○	
	AIAI NURSERY 北綾瀬	○		○	○	
	チェリッシュ北綾瀬*					
中川北	黒川幼稚園*					
	六木保育園	○	○	○	○	○
辰沼	辰沼保育園	○		○	○	○
	きたあやせこころ保育園	○	○	○	○	○
	未来っ子保育園北加平町園	○	○	○		○
	ﾁｪﾘｯｼｭﾅｰｻﾘｰｽｸｰﾙやなか	○		○		
中川東	東京いずみ幼稚園*					
	おおやたこども園	○		○	○	○
	ﾅｰｻﾘｰｽｸｰﾙいずみ大谷田				○	
六木	六木幼稚園	○		○		
	神明町保育園	○				○

*施設都合により調整ができなかったため、未実施

①体験給食：学校給食の準備や配膳、食事、後片付けなど小学校の給食を体験する取組

②体験授業：小学校の授業を体験したり、小学校の教員と交流したりする取組

③学校探検：教室や図書室、校庭など、これから通う小学校の環境を見学する取組

④交流活動：児童と園児との交流活動や、音楽会や展覧会などを見学する取組

⑤交流研修：教員と保育者との研修会や校長講話等の取組

（２）主な取組事例

【参加校・園】中川小学校・大谷田第一保育園

ア　公開保育

① 公開保育では、「自分から発言したり友だちの話に耳を傾けたりしているか」「ルールを理解して遊んでいるか」「トラブルの際言葉で伝えようとしているか」という視点で参観した。

② サークルタイムを行った後、ホールで大縄跳びやボール遊びなど友だちと一緒に体を動かして遊んだ。

③ 協議会では活発な意見が交わされ、教員からは「就学前の子どもがこれほど色々なことができることを初めて知った」「トラブルが起きたときには、一人ひとりに応じた言葉がけをして、子どもたちに考える時間を与えており、参考になった」「遊びの中で日付や数について自然と興味が向くようにしていた」という気付きが話された。





イ　展覧会見学と製作体験

① 児童に作品の見どころを教えてもらいながら、大小様々な作品をじっくりと見学した。

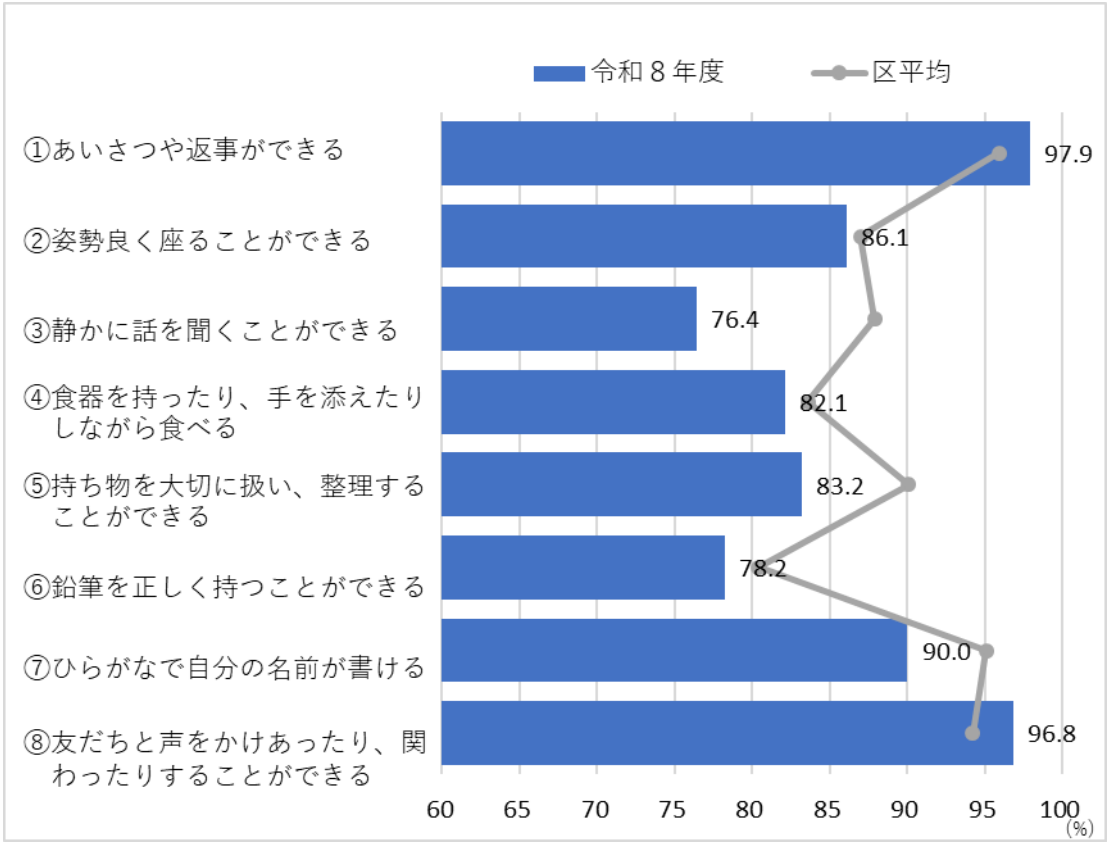
② 展覧会見学後、吹き絵の製作を体験した。並べられた材料に興味津々だった。教員にやり方やコツを聞きながら、「息が強いと絵の具が遠くまでいっちゃう」「こっち側から吹いてみよう」と気付きや考えを言葉にしていた。

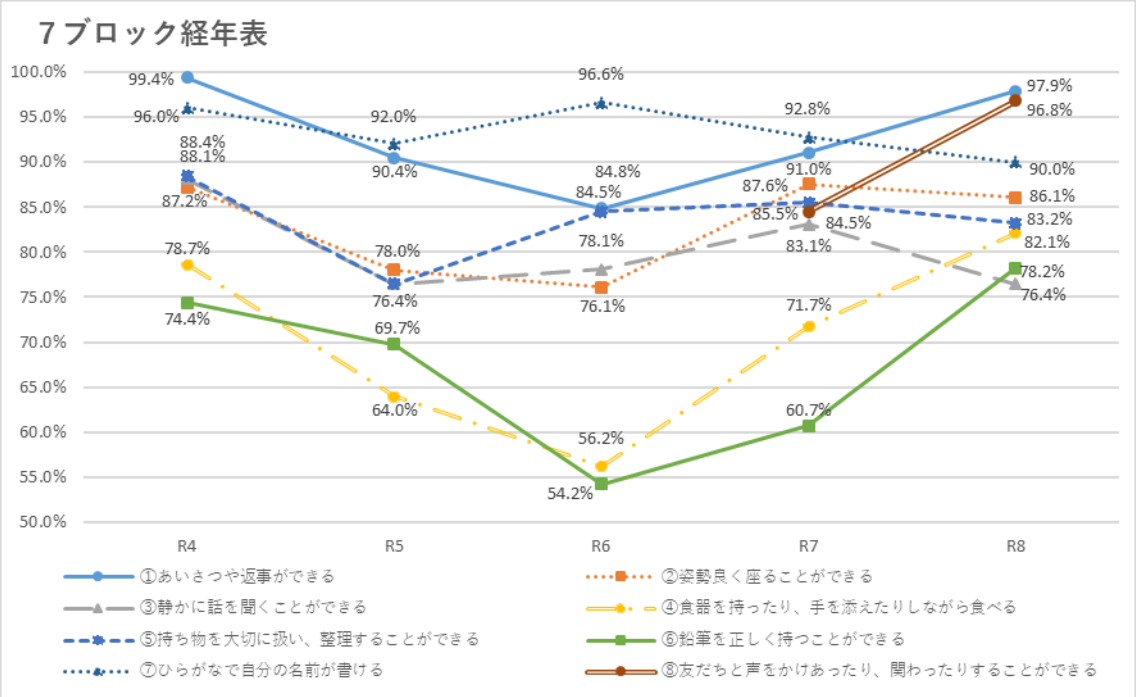
③ 保育園に帰ってきてから「あのお面作ってみたい」「もう一度吹き絵をやりたい」などと声があがり、保育園での製作遊びがより豊かになった。





（３）小学校第１学年の生活・学習習慣に関するアンケートブロック別結果





（４）アンケートの結果を受けた課題及び取組方針

６項目で区全体平均を下回っていたが、アンケート⑧「友だちと声をかけあったり、関わったりすることができる」は昨年度に比べ、１２．３ポイント上昇し、区全体平均を上回った。ブロック会議では、アンケート③「静かに話を聞くことができる」及びアンケート⑧「友だちと声をかけあったり、関わったりすることができる」について取組方針を検討した。

課題	アンケート③（静かに話を聞く） （ア）昨年度より６．７ポイント下回っている。 （イ）相手が話をしている最中に、自分の話したいタイミングで発言をし、最後まで話を聞けない子どもがいる。
取組方針	（ア）就学前施設において、教員や保育者が子どもの話を丁寧に聞き、子どもが自分の話を十分に聞いてもらう経験を重ねる。 （イ）就学前施設において、一対一の会話だけでなく、一人が話すことを複数人で聞く経験を重ねていく。 （ウ）視覚的教材を用いて、理解しやすくするとともに、集中力が持続するようにする。 （エ）質問は話が終わってから手を挙げてすることを習慣づけていく。
課題	アンケート⑧（友だちとの関わり） （ア）仲の良い友だちとは話すことができるが、学習の中でペアを組んだ同級生と話ができない子どもがいる。
取組方針	（ア）子ども同士が互いを認め合い助け合える関係性が育まれるよう、教員及び保育者は、子どもの良いところを認めほかの子どもにその良さを伝えていく。 （イ）少人数のグループでの学習や活動に、遊びや協同的な内容を取り入れながら、互いの長所や異なる意見に触れる機会をもつ。

８　第８ブロック

青井・一ツ家・平野地域等の小学校５校及び就学前施設１５園で活動している。主な活動として、体験給食（８園実施）や交流活動（８園実施）等を実施している。

（１）第８ブロック連携校・園・取組内容

小学校	就学前施設	①	②	③	④	⑤
栗島	栗島幼稚園				○	○
	足立梅島雲母保育園				○	
加平	あおい幼稚園	○				
	たんぽぽ保育所六町園	○				
	たんぽぽ保育所第二六町園	○				○
	六町駅前保育園	○				
	野のはな保育園	○				
東栗原	東栗原保育園	○		○	○	○
	明日葉保育園保塚園				○	○
	ｸﾚｱﾅｰｻﾘｰ足立さくら園	○			○	○
平野	足立つくし幼稚園*					
	平野保育園	○		○		○
青井	明日葉保育園青井園				○	
	AIAI NURSERY 綾瀬六丁目			○	○	
	青井保育園			○	○	○

*施設都合により調整ができなかったため、未実施

①体験給食：学校給食の準備や配膳、食事、後片付けなど小学校の給食を体験する取組

②体験授業：小学校の授業を体験したり、小学校の教員と交流したりする取組

③学校探検：教室や図書室、校庭など、これから通う小学校の環境を見学する取組

④交流活動：児童と園児との交流活動や、音楽会や展覧会などを見学する取組

⑤交流研修：教員と保育者との研修会や校長講話等の取組

（２）主な取組事例

【参加校・園】加平小学校・たんぽぽ保育所第二六町園

ア　職員交流

初任者研修の『校外の研修』として教員が子どもと触れ合ったり、保育者の関わりについて意見を交換したりした。

【教員の気づき】

① 年齢に応じた発達や育ちを知ることができた。

② 保育者は、子どもが主体的に物事を捉え、考えたり、行動したり、発言したりできるような声がけや関わりをしていた。

③ 愛着形成や共感的応答は、人間形成において重要なポイントであると、改めて学ぶことができた。

【保育者の気づき】

① 教員が子どもとたくさん関わる機会をもつことができた。子どもも積極的に関わり、小学校を身近な存在として感じられる機会となった。

② 教員と保育者の相互理解が深まり、教育・保育の質の向上となった。

【参加校・園】栗島小学校・足立梅島雲母保育園

イ　音楽会リハーサル見学

① 少し緊張していたが、下駄箱に卒園児の名前を見つけるとほっとした表情になり、「〇〇ちゃんいるね」と教え合っていた。

② 体育館に入ると、様々な楽器があることに気付き、「あれはなに？」と保育者に尋ねたり、「やってみたい」と目を輝かせて話したりしていた。

③ 卒園児を見つけると、嬉しそうに教えていた。

④ 発表が終わると、「すごかった」「おもしろかった」と感じたことを伝え合う姿が見られた。

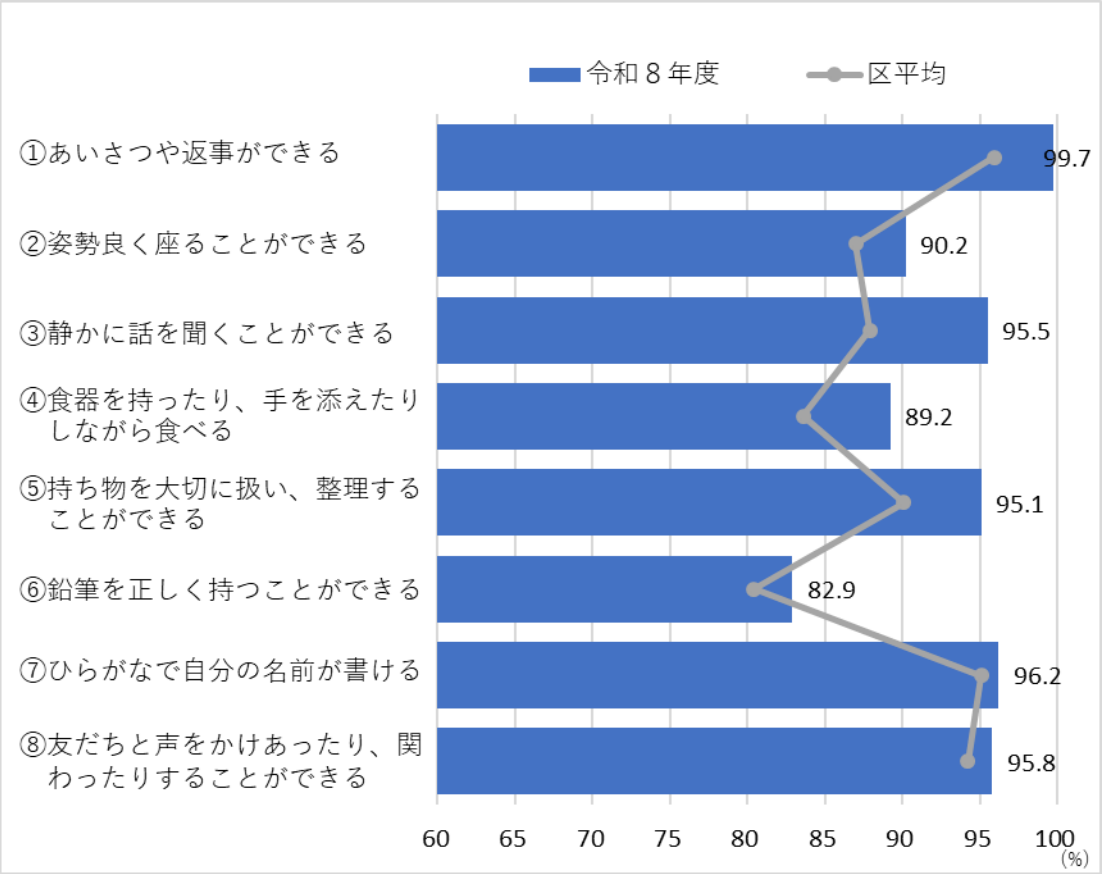
⑤ サッカーゴールやバスケットゴールなどを見て、「やってみたい」と期待していた。保育者が「来年は遊んでいるかも」と言うと嬉しそうにしていた。

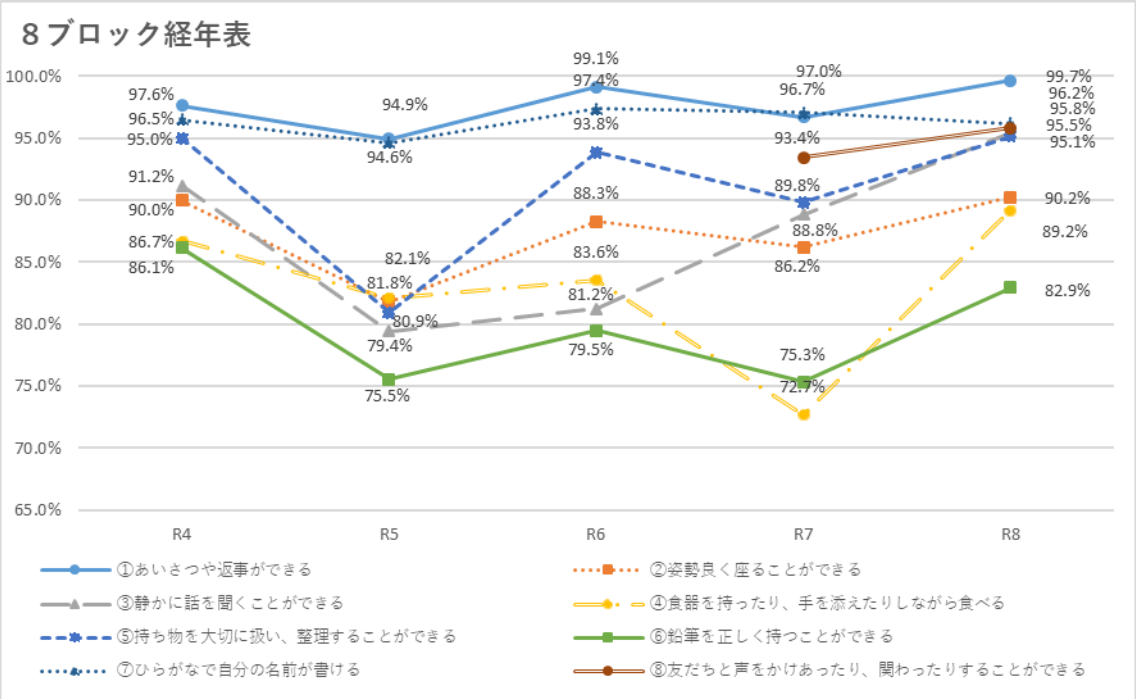
⑥ 音楽会リハーサルを見学し、園児が卒園児の活躍や小学校の環境に触れたことで、不安が憧れや期待に変わり、就学を肯定的に捉えることができた。





（３）小学校第１学年の生活・学習習慣に関するアンケートブロック別結果





（４）アンケートの結果を受けた課題及び取組方針

すべての項目で区平均全体を上回っている。特にアンケート③「静かに話を聞くことができる」は区全体平均より７．６ポイント上回っている。ブロック会議では、アンケート②「姿勢良く座ることができる」、アンケート⑥「鉛筆を正しく持つことができる」及びその他の課題について取組方針を検討した。

課題	アンケート②（姿勢良く座る） （ア）姿勢保持が難しい子どもがいる。
取組方針	（ア）姿勢については、体幹が鍛えられるような遊びや手指を使う遊びを取り入れ、体づくりを行っていく。
課題	アンケート⑥（鉛筆の持ち方） （ア）鉛筆、箸の持ち方の癖については、５歳児になってから取り組むのではなく最初のスタートが大切である。 （イ）課題への取り組みには保護者の協力が必要である。
取組方針	（ア）食具や鉛筆については、その都度子どもに持ち方を伝え（三点持ち）、家庭においても意識して取り組んでいただく。就学前施設では、鉛筆を持つ機会を増やす。 （イ）就学前施設で行っている指先を使った遊び（引っ張る、つまむ、掴むなど）は、鉛筆や箸を持つ前段階となるものであるため、低年齢からの遊びも大切にする。
課題	多国籍の子どもが増え、文化の違いを感じる。
取組方針	（ア）課題や取組方法を小学校と就学前施設で共有し、スムーズな就学につなげていく。

９　第９ブロック

花畑・南花畑地域等の小学校５校及び就学前施設１０園で活動している。主な活動として、体験給食（１０園実施）や交流活動（８園実施）等を実施している。

（１）第９ブロック連携校・園・取組内容

小学校	就学前施設	①	②	③	④	⑤
花畑	六町あづま保育園	○	○		○	○
花畑第一	東花畑保育園	○	○	○	○	○
花畑西	杉の子幼稚園	○		○	○	○
桜花	花畑桑袋保育園	○	○		○	○
	レイモンド花畑保育園	○		○	○	○
花保	石鍋幼稚園	○				
	南保木間保育園	○	○		○	○
	愛隣保育園	○			○	○
	六町保育園	○				
	東保木間保育園	○			○	

①体験給食：学校給食の準備や配膳、食事、後片付けなど小学校の給食を体験する取組
②体験授業：小学校の授業を体験したり、小学校の教員と交流したりする取組
③学校探検：教室や図書室、校庭など、これから通う小学校の環境を見学する取組
④交流活動：児童と園児との交流活動や、音楽会や展覧会などを見学する取組
⑤交流研修：教員と保育者との研修会や校長講話等の取組

（２）主な取組事例

【参加校・園】花畑第一小学校・東花畑保育園

ア　図書館体験（１回目）

①　始めは緊張していたが、自分たちが知っている本を見つけると「これ、見たことある」と嬉しそうに手に取り見ていた。

②　リラックスすると初めての本にも興味がわき、大きな魚の図鑑を友だちと一緒に囲み「見て、これすごいよ」「ほんとうだ。この魚大きすぎるよ」と保育園には無い本を楽しんでいた。



イ　図書館体験（２回目）

①　２回目の訪問では、自分たちで本を選んで読むほか、学校図書館支援員の方に絵本の読み聞かせをしてもらった。真剣なまなざしで聞き入っていた。

②　図書館の中は子どもたちの興味を引く表示で工夫されており、何冊も本を手に取っていた。

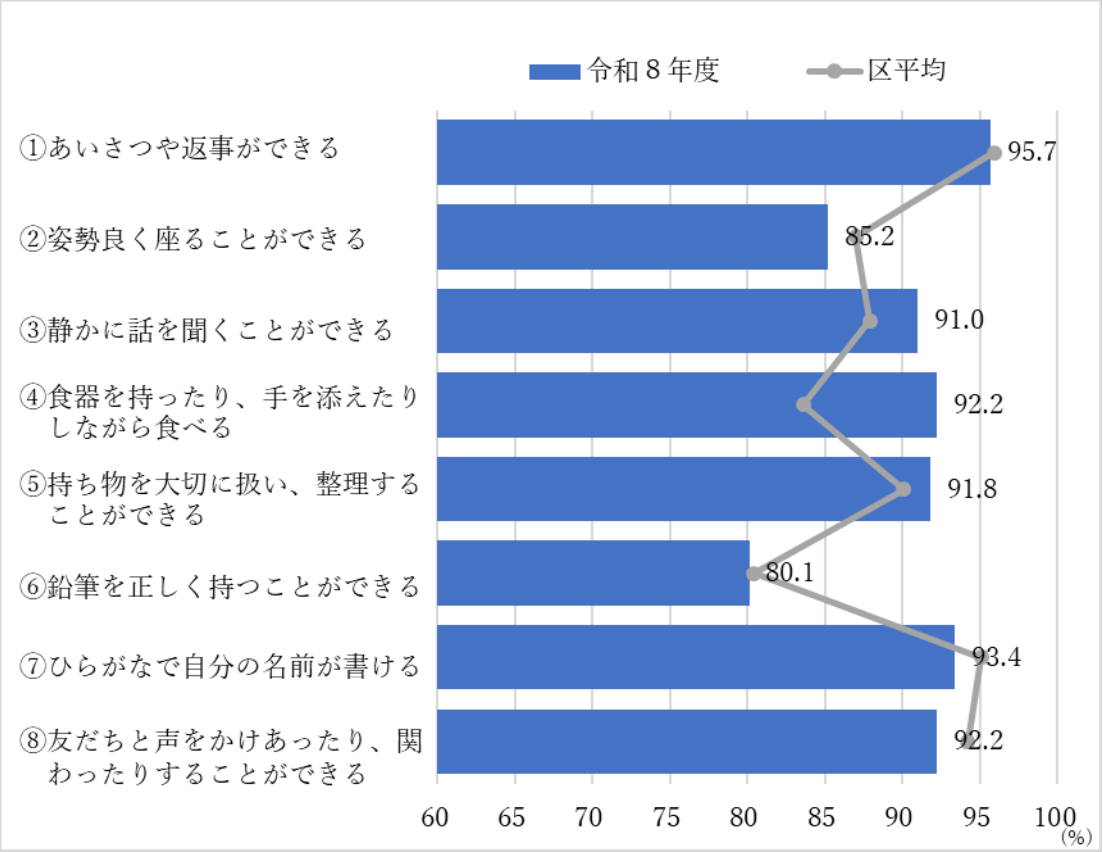
③　米研ぎ体験時に「学校にお米の本あったね」と米への関心が広がり、日々の保育につながった。本を互いに読み合い、友だちとのやり取りを楽しむようになった。

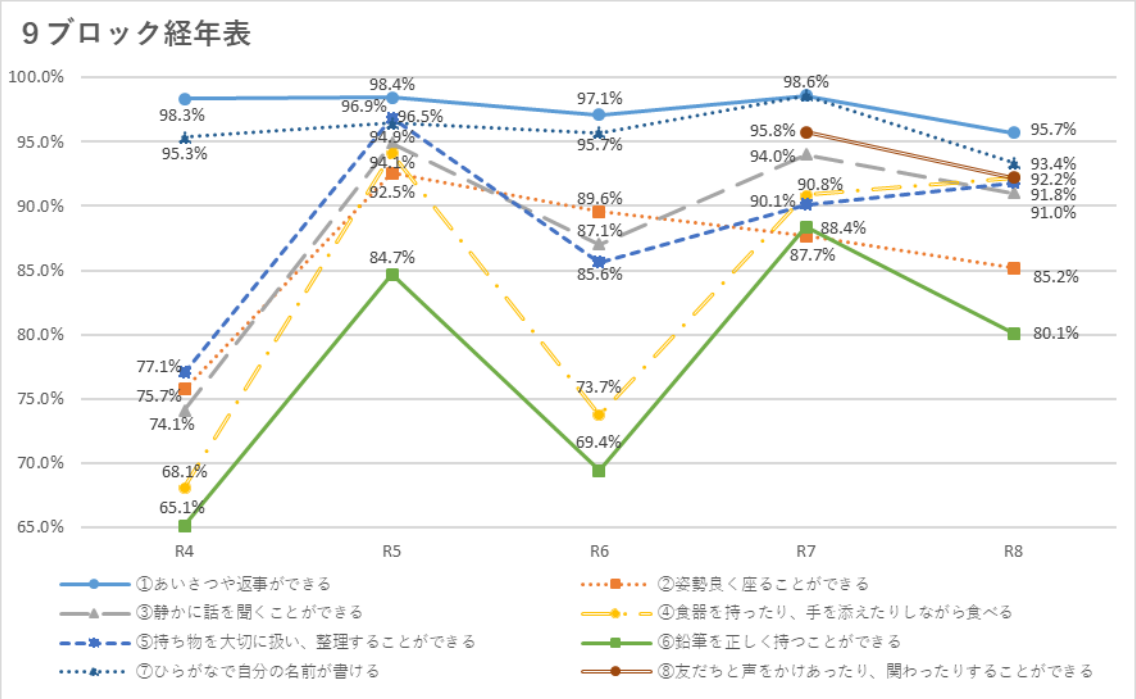
④　図書館利用の経験を通して、学校の楽しいと思える場所が一つ増え、就学への期待が高まった。





（３）小学校第１学年の生活・学習習慣に関するアンケートブロック別結果





（４）アンケートの結果を受けた課題及び取組方針

５項目で区全体平均を下回っている。また、⑥「鉛筆を正しく持つことができる」、⑦「ひらがなで自分の名前が書ける」及び⑧「友だちと声をかけあったり、関わったりすることができる」は昨年度に比べ、３．５ポイント以上下がっている。ブロック会議では上記項目を課題とし、取組方針を検討した。

課題	アンケート⑥⑦（鉛筆の持ち方、ひらがなで名前が書ける） （ア）間違った鉛筆の持ち方が癖になっている。 （イ）文字への関心が低い子ときれいな字を書きたいという子とそれぞれいる。
取組方針	（ア）食具や筆記具を使用しているときに個別に正しい持ち方を伝える。 （イ）十分に体を使った遊びを重ね、姿勢保持ができるようにする。 （ウ）文字への関心がもてるような遊びや環境を整える。 （エ）「文字を書いてみたい」「読みたい」という気持ちを大切にする。
課題	アンケート⑧（友だちとの関わり） （ア）困ったことがあっても、泣いてしまったり、担任に訴えに来たりする姿がある。
取組方針	（ア）保育者が共感して話を聞いたり、言葉を補ったりして自分の気持ちを言葉にして伝える経験を重ねられるように関わっていく。 （イ）友だちと気持ちを伝え合える場面や活動を通して、相手に思いが伝わる喜びを感じられるようにしていく。

10　第１０ブロック

竹の塚・西保木間・保木間地域等の小学校６校及び就学前施設１３園で活動している。主な活動として、体験給食（１０園実施）や交流活動（１１園実施）等を実施している。

（1）第１０ブロック連携校・園・取組内容

小学校	就学前施設	①	②	③	④	⑤
中島根	中島根保育園	○		○	○	○
渕江	竹塚幼稚園	○		○	○	○
	竹の塚北保育園	○	○		○	○
渕江第一	小倉幼稚園	○			○	○
	保木間保育園	○	○	○	○	○
	北保木間保育園	○		○	○	○
	まなびの森保育園竹ノ塚	○			○	
西保木間	西保木間保育園	○		○	○	○
	水神橋保育園	○			○	○
保木間	竹の塚保育園		○	○	○	○
竹の塚	ふちえ幼稚園	○			○	
	渕江保育園		○	○		
	保育園ミルキーウェイ竹の塚			○		

①体験給食：学校給食の準備や配膳、食事、後片付けなど小学校の給食を体験する取組
②体験授業：小学校の授業を体験したり、小学校の教員と交流したりする取組
③学校探検：教室や図書室、校庭など、これから通う小学校の環境を見学する取組
④交流活動：児童と園児との交流活動や、音楽会や展覧会などを見学する取組
⑤交流研修：教員と保育者との研修会や校長講話等の取組

（２）主な取組事例

ア　公開保育

【参加校・園】中島根小学校・渕江小学校・渕江第一小学校・西保木間小学校・保木間小学校・竹の塚小学校・小倉幼稚園・保木間保育園・北保木間保育園・西保木間保育園・水神橋保育園・ふちえ幼稚園・保育園ミルキーウェイ竹の塚

① 公開保育前の夏まつりで、５歳児がゲームコーナーやお店を開いた。その後も自分たちで楽しむ中で４歳児を招待したいということになり、お金や新しいお店をつくり、準備を進めた。

② 当日は呼び込みやお店当番などの役割を自分で考えて動き、友だちと協力してお店を開いていた。お客さんとして楽しんでいた４歳児も刺激を受け、お店を急遽開く姿があった。

③ 協議会では、園児が主体的に遊びや生活を進める姿から、架け橋期における小学校の学習環境について、幼保小連携の必要性を再認識する意見交換が行われた。





イ　体験授業

【参加校・園】渕江第一小学校・保木間保育園・北保木間保育園・まなびの森保育園竹ノ塚

① １年生の教室で、椅子に座って机で運筆をする。鉛筆で線をなぞることを意識し、集中して取り組んでいた。

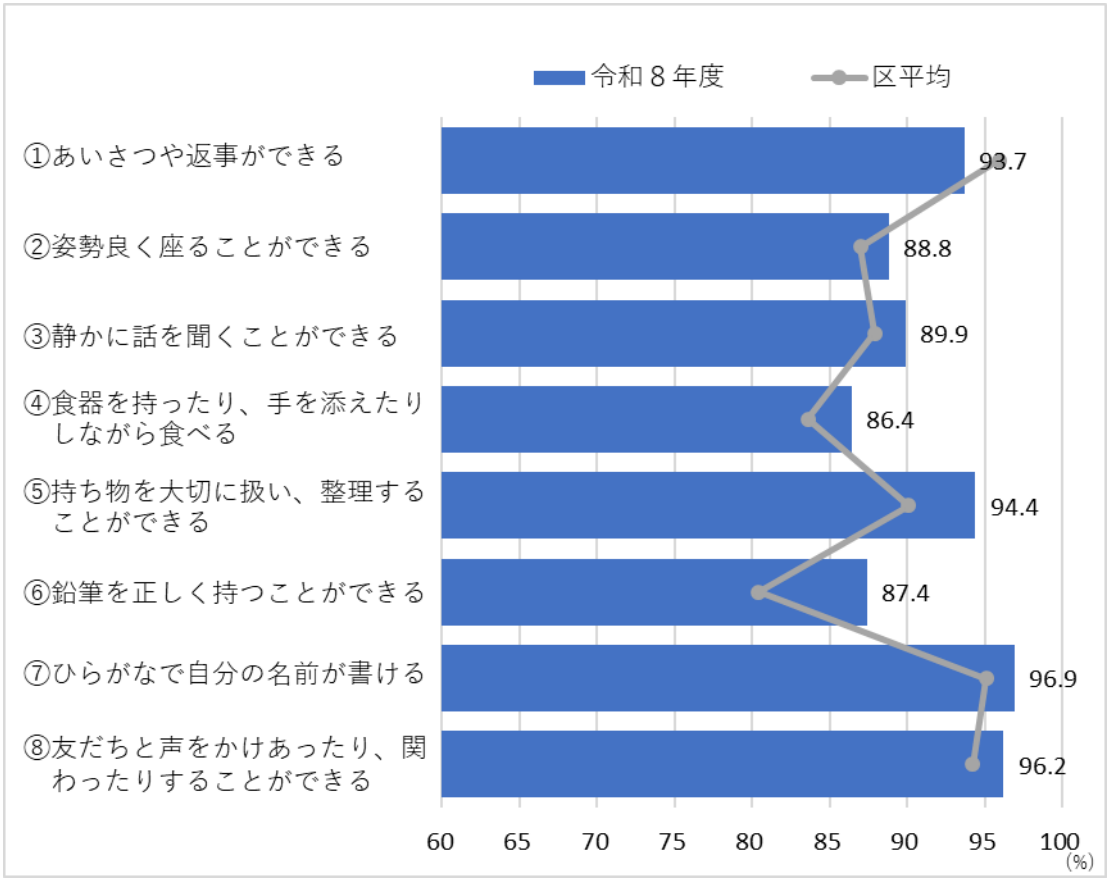
② 図書室で園児が好きな本を選び、１年生と一緒に読んでもらった。また、体育館でのじゃんけん列車では、じゃんけんの勝ち負けやルールを理解し、面白さを味わいながら繰り返した。

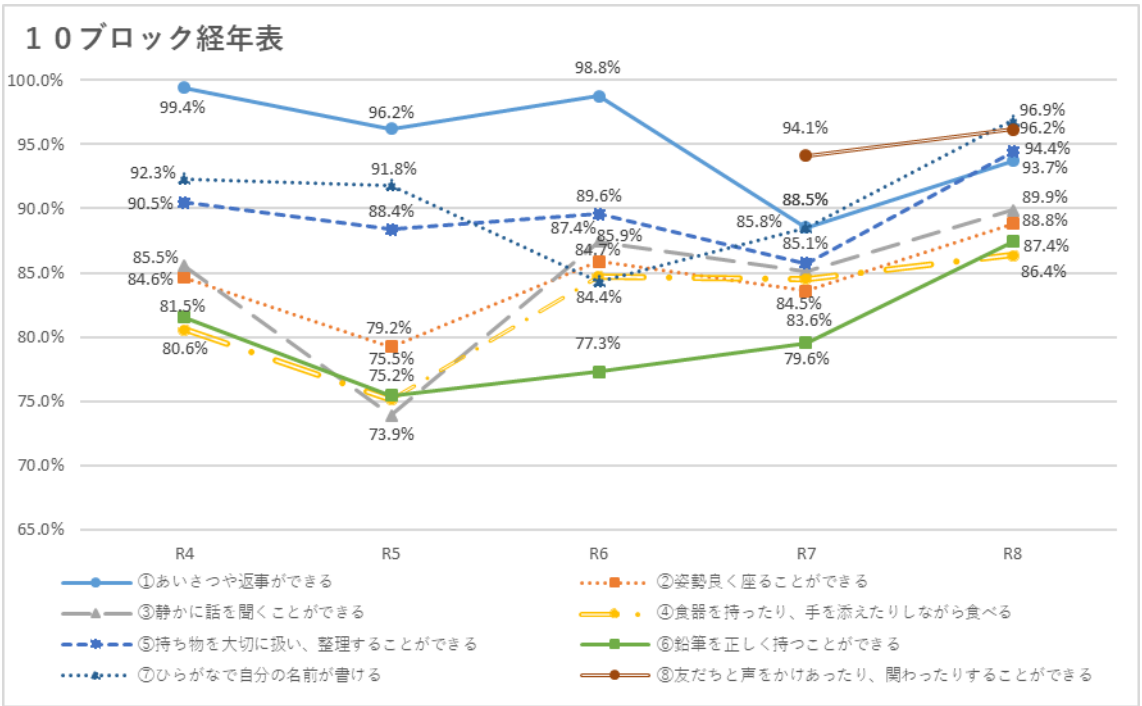
③ 就学への期待と同時に不安感も表れてくるこの時期に、小学校生活を体験できたことで自信と期待が高まったと感じる。





（３）小学校第１学年の生活・学習習慣に関するアンケートブロック別結果





（４）アンケートの結果を受けた課題及び取組方針

７項目で区全体平均を上回っている。アンケート⑥「鉛筆を正しく持つことができる」は区全体平均より７．０ポイント上回った。ブロック会議ではアンケート④「食器を持ったり、手を添えたりしながら食べる」、アンケート⑥「鉛筆を正しく持つことができる」及びアンケート⑧「友だちと声をかけあったり、関わったりすることができる」について取組方針を検討した。

課題	アンケート④（食器の持ち方） （ア）食育に関しては、家庭の影響が大きい。食事マナーに対する認識にも差がある。 （イ）姿勢保持が難しいため、食器を持ったり、手を添えたりすることに意識を持ちづらい。
取組方針	（ア）就学前施設での食育活動を通して、食やマナーへの興味を高める。 （イ）指先を使った遊びや全身を使った多様な動きを経験する。
課題	アンケート⑥（鉛筆の持ち方） （ア）鉛筆の持ち方や書き順に課題（癖、自己流）がある。
取組方針	（ア）年齢発達に合わせた教材（筆記用具）を使い、個別に持ち方を知らせていく。 （イ）体験授業、体験給食、学校探検などを通して、小学校への期待や学ぶことへの興味につなげる。 （ウ）交流研修、学校公開、公開保育を通して子どもの姿を理解し、教育、保育に活かす。
課題	アンケート⑧（友だちとの関わり） （ア）友だちと声をかけあい、関わることが上手ではあるが、友だちとの関わりのなかで、言葉で伝えられないことがある。 （イ）言葉遣いがきつくて相手に嫌な思いをさせてしまう。
取組方針	（ア）自分の思いを言葉にして伝えるように働きかける。 （イ）学級でどうすると良いかを考え合ったり、具体的な関わり方や言葉を知らせたりする。

11　第１１ブロック

伊興・栗原・東伊興地域等の小学校５校と就学前施設１５園で活動している。主な活動として、体験授業（１２園で実施）や学校探検（１３園実施）等を実施している。

（1）第１１ブロック連携校・園・取組内容

小学校	就学前施設	①	②	③	④	⑤
西新井第二	西新井保育園*1					○
	ｉ-保育園	○	○	○		○
	清水保育園	○	○	○	○	○
	アスク西新井保育園			○		○
西伊興	佐藤幼稚園		○	○		
	うぃず西新井保育園*2			○	○	
栗原北	はなぞの幼稚園	○	○	○		
	くりはら愛育保育園	○	○	○	○	○
	伊興大境保育園	○	○	○		
	たんぽぽ保育所竹の塚園	○	○			○
伊興	福寿院幼稚園	○	○	○		○
	伊興保育園	○	○	○	○	○
東伊興	本行寺第二伊興幼稚園	○	○	○		○
	伊興すみれ保育園	○	○	○		
	ソラストたけのつか保育園	○	○	○	○	○

*1「西新井保育園」は令和８年４月より「あーと＆英語が好きになる保育園　にしあらい」に施設名称変更

*2「うぃず西新井保育園」は令和８年４月より「インターナショナルうぃず西新井保育園」に施設名称変更

①体験給食：学校給食の準備や配膳、食事、後片付けなど小学校の給食を体験する取組

②体験授業：小学校の授業を体験したり、小学校の教員と交流したりする取組

③学校探検：教室や図書室、校庭など、これから通う小学校の環境を見学する取組

④交流活動：児童と園児との交流活動や、音楽会や展覧会などを見学する取組

⑤交流研修：教員と保育者との研修会や校長講話等の取組

（２）主な取組事例

【参加校・園】栗原北小学校・くりはら愛育保育園

ア　体験給食

① 園児は緊張していたが、児童が温かく迎え入れてくれたことで安心し、会話を楽しみながら食事をする姿が見られた。

② 牛乳パックを開けることや直接飲むことに苦戦していた。その様子を見ていた児童は、見本を見せたり、手伝ったりしていた。

③ 保育園に戻ると、児童の優しい言葉や対応に「楽しかった」「また行きたい」と話していた。





イ　小学校見学・模擬授業

① 卒園児がいることに気付くと喜び、親しみを感じていた。

② 模擬授業に期待をもち、意欲的に参加していた。後日保育園で鉛筆の持ち方を友だちと確認し合う姿が見られた。

【参加校・園】東伊興小学校・ソラストたけのつか保育園

ウ　学校体験、体験給食

① ランドセルを背負う体験では、「何色のランドセルなの」「重いね」「似合うね」と嬉しそうに会話も弾んでいた。

② プリント学習では、正しく鉛筆を持ち、自信をもって名前を書く姿が見られ、意欲的に模擬授業に取り組み、小学校への期待が感じられた。

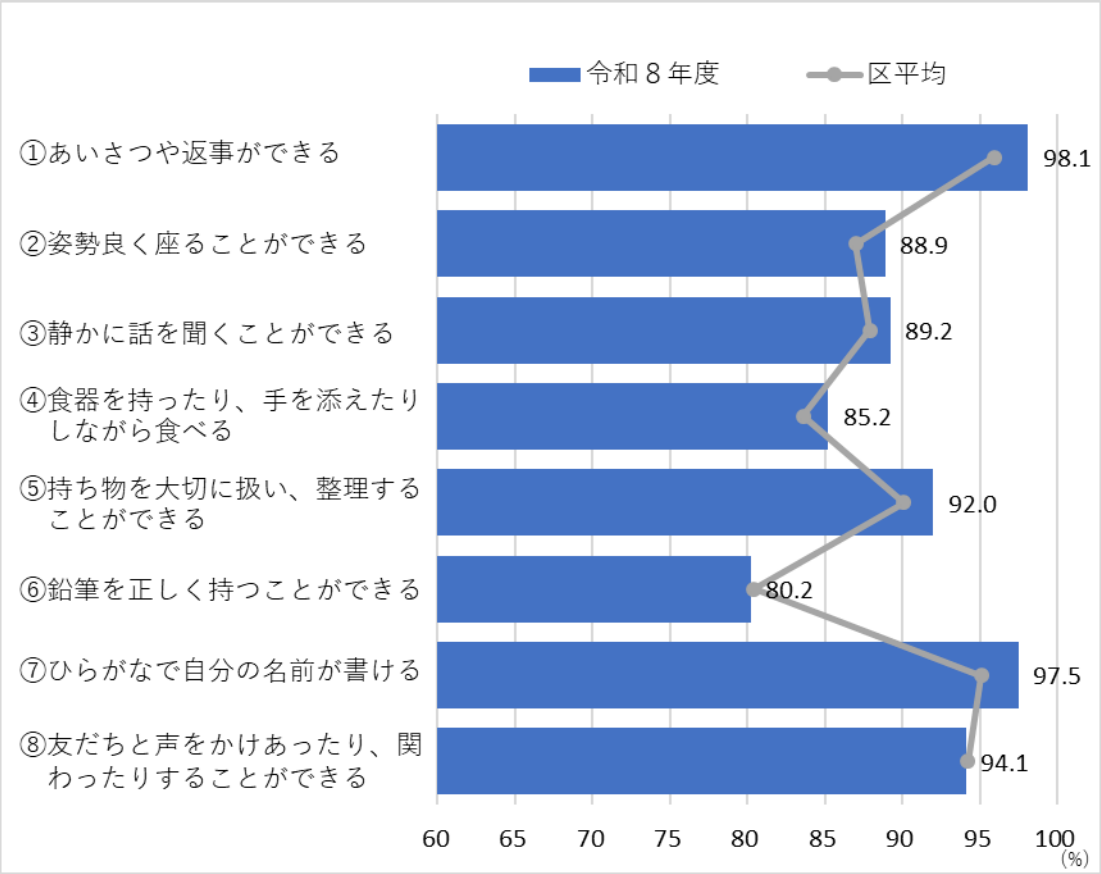
③ 体験給食では、牛乳パックの扱い方は難しかったようだが、入学前に体験できて良かった。

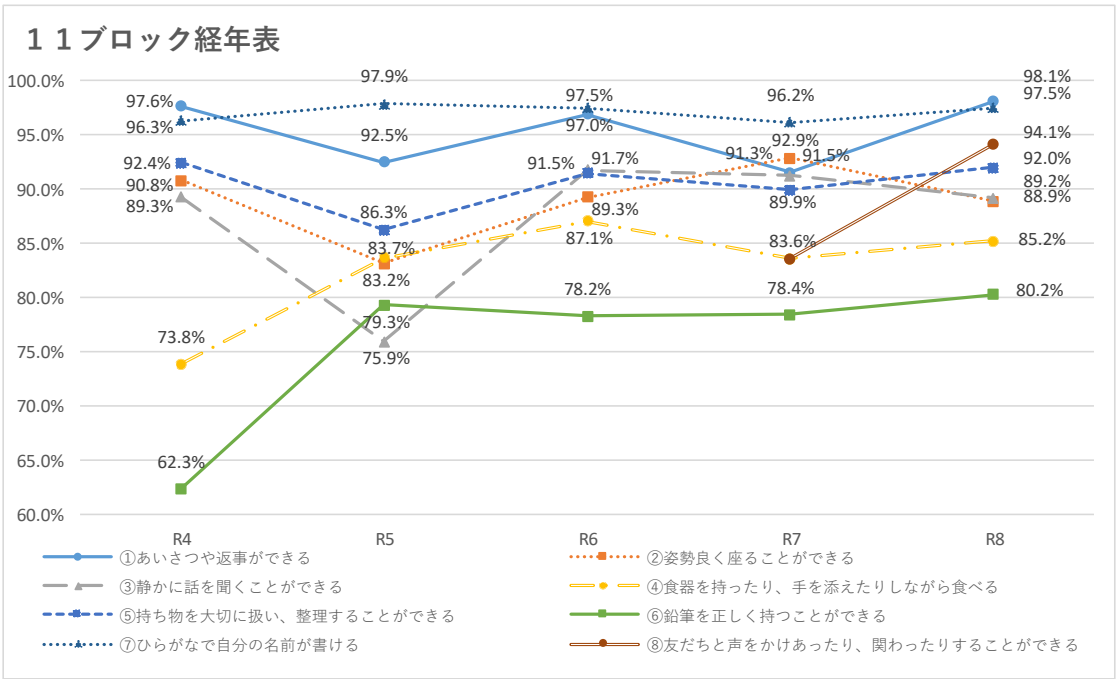
④ 持ち帰ったメダルのプレゼントをきっかけに、楽しかったことを保護者や保育者に嬉しそうに話す姿が見られた。学校体験が大きな自信へとつながっていることを感じることができた。





（３）小学校第１学年の生活・学習習慣に関するアンケートブロック別結果





（４）アンケートの結果を受けた課題及び取組方針

６項目で区全体平均を上回っている。特にアンケート⑧「友だちと声をかけあったり、関わったりすることができる」は、昨年度から１０．５ポイント上昇している。ブロック会議では、アンケート②「姿勢良く座ることができる」、アンケート⑥「鉛筆を正しく持つことができる」及びアンケート⑧「友だちと声をかけあったり、関わったりすることができる」について課題とし、取組方針を検討した。

課題	アンケート②（姿勢良く座る） （ア）姿勢良く座ることや静かに話を聞くことが苦手な子どもが増えた。
取組方針	（ア）３６の基本動作を意識した「楽しい」と思える遊びを取り入れ、基礎的な運動能力の向上や体幹を鍛えることに繋げていく。 （イ）話をするときには、集中しやすい体勢や話の内容などを工夫していく。
課題	アンケート⑥（鉛筆の持ち方）
取組方針	（ア）鉛筆を使う前には、丁寧に持ち方の確認をしている。持ち方の癖がついてしまうので、保護者会でも話題にして鉛筆を正しく持つことが子どもの育ちに何故良いのかを伝えていく。
課題	アンケート⑧（友だちとの関わり） （ア）言葉の語彙数が少なく、雑な言葉のやり取りが多く、ぶつかり合いになりやすい。
取組方針	（ア）子どもの話をよく聴く。また、思いを汲み取り正しい言葉を返していく。 （イ）絵本活動を推進し、語彙力や想像力を育んでいく。 （ウ）親子間の会話を丁寧にしてもらうなど、コミュニケーション力の向上につながるよう保護者とも連携していく。

12　第１２ブロック

皿沼・鹿浜・新田地域等の小学校５校及び就学前施設１５園で活動している。主な活動として、体験給食（１２園）や学校探検（１２園）等を実施している。

（1）第１２ブロック連携校・園・取組内容

小学校	就学前施設	①	②	③	④	⑤
鹿浜第一	足立このみ保育園	○			○	
	SAKURA 保育園谷在家	○	○	○	○	○
	谷在家保育園	○			○	○
鹿浜未来	鹿浜愛育幼稚園			○		
	鹿浜こども園	○		○	○	○
	太陽保育園	○		○	○	○
鹿浜五色桜	江北白百合幼稚園				○	
	第三上沼田保育園	○		○	○	○
皿沼	加賀保育園	○	○	○	○	○
新田学園	新田わかば保育園	○		○		○
	新田保育園	○		○		○
	まなびの森 ココロット保育園	○		○		○
	まなびの森 ヴィラ・ココロット保育園	○		○		○
	新田さくら保育園			○		○
	新田おひさま保育園	○		○		○

①体験給食：学校給食の準備や配膳、食事、後片付けなど小学校の給食を体験する取組

②体験授業：小学校の授業を体験したり、小学校の教員と交流したりする取組

③学校探検：教室や図書室、校庭など、これから通う小学校の環境を見学する取組

④交流活動：児童と園児との交流活動や、音楽会や展覧会などを見学する取組

⑤交流研修：教員と保育者との研修会や校長講話等の取組

（２）主な取組事例

【参加校・園】鹿浜第一小学校・SAKURA 保育園谷在家

ア　学校探検・体験給食

① 自己紹介後、「ジャンケンポン」と元気な声を響かせながら、一緒にジャンケン列車のゲームを楽しんだ。

② １年生は、「ランドセル背負ってみる」「教科書はこんなふうに入れるんだよ」と、持ち物や学校生活について教えていた。

③ ランドセル体験後、グループになり一緒に校内を探検した。

④ 体験給食では、教員に給食の流れや配膳の仕方、食べるときの約束について教えてもらい、１年生と一緒に給食を食べた。

⑤ 食べ終わったあとは、牛乳パックの片付け方を教えてもらい、開いて広げ、水道できれいに洗って片付けていた。

⑥ 初めは緊張していた園児も、教えてもらいながら体験することで「楽しかった」「早く１年生になりたい」という声が聞かれ、小学校への期待が高まる貴重な体験となった。





【参加校・園】皿沼小学校・加賀保育園

イ　ちびっこまつり

① １、２年生が「ちびっこまつり」を計画し、体育館で「もぐらたたき」「ボーリング」「くじ引き」などを楽しんだ。

② 遊び方やルールなどを、１、２年生が、分かりやすく説明してくれたので、園児は期待感をもって参加していた。

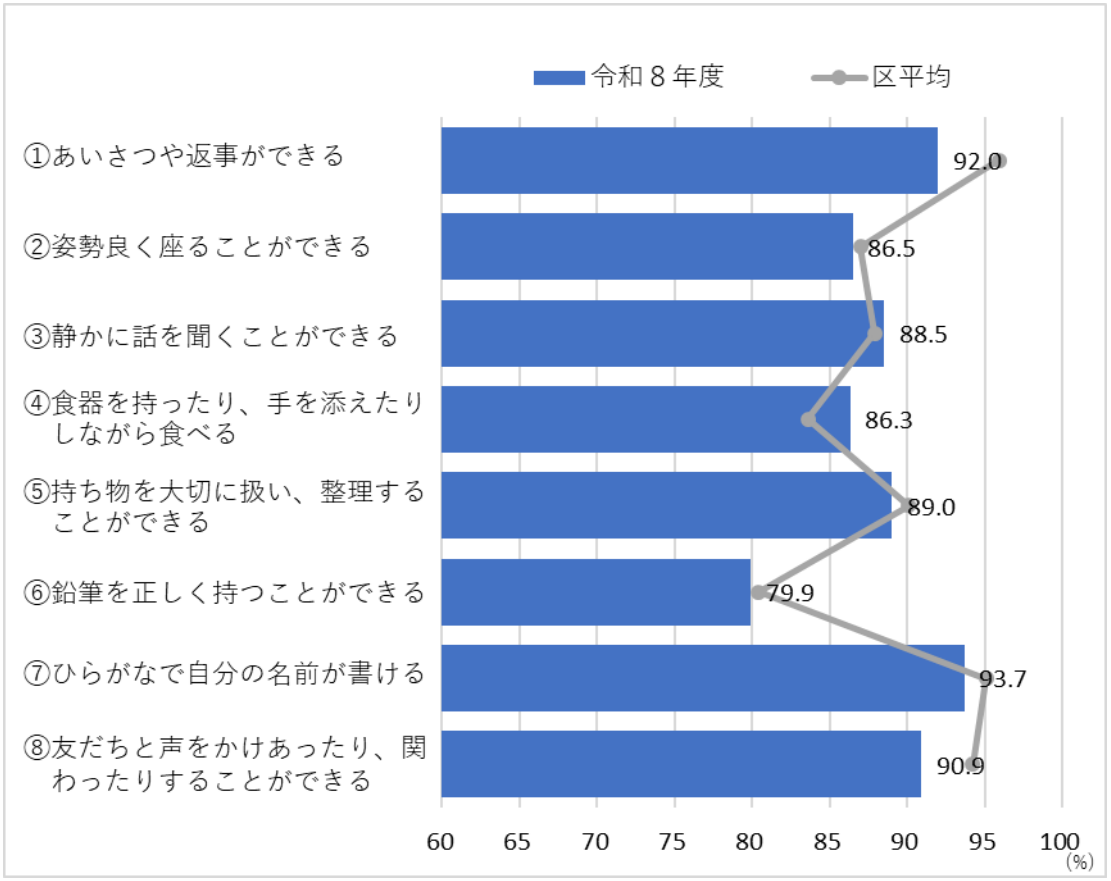
③ 各コーナーで１、２年生は、園児に優しく寄り添いながら教えてあげたり、一緒に遊んだりしていた。

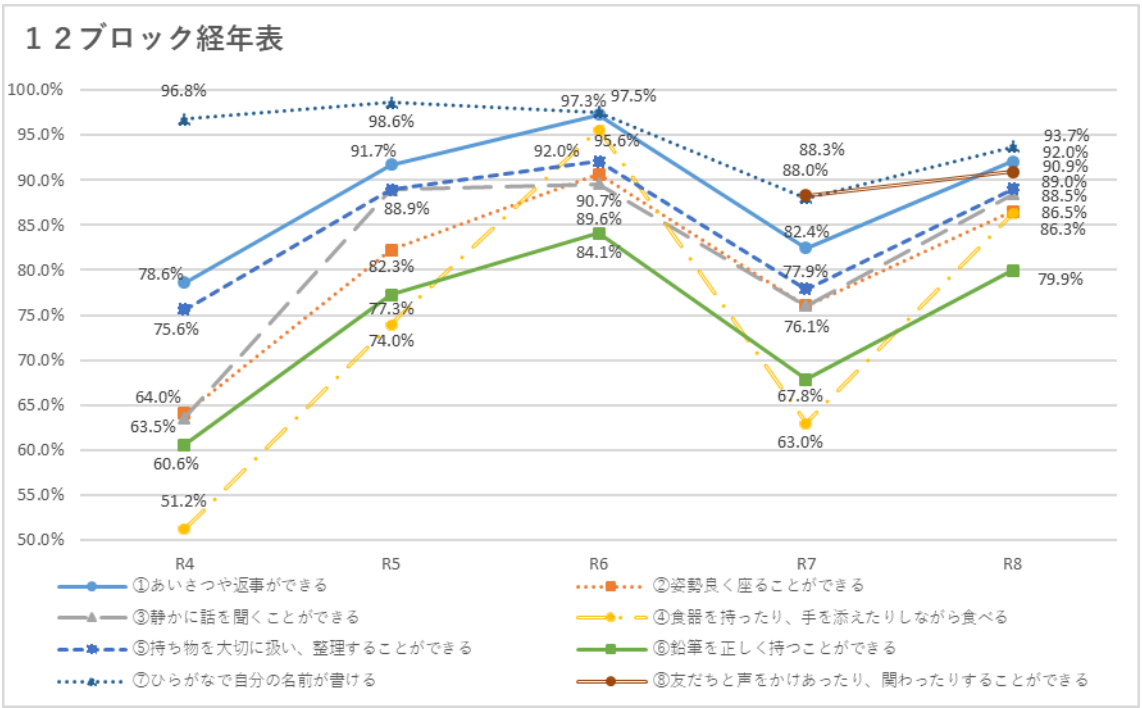
④ 園児は、顔見知りの児童が役割をもって取り組んでいる姿にあこがれをもっている様子も見られ、就学への期待も高まったようだ。





（３）小学校第１学年の生活・学習習慣に関するアンケートブロック別結果





（４）アンケートの結果を受けた課題及び取組方針

６項目で区全体平均を下回っているが、アンケート④「食器を持ったり、手を添えたりしながら食べる」は、昨年度に比べ、２３．３ポイント上昇し、区全体平均を上回った。ブロック会議では、アンケート①「あいさつや返事ができる」、アンケート②「姿勢良く座ることができる」及びアンケート③「静かに話を聞くことができる」の基本的生活習慣を課題とし、取組方針を検討した。

課題	アンケート①（あいさつや返事）
取組方針	（ア）あいさつは人と繋がるきっかけになるので、ポスターなどを作成し、地域でも取り組んでいく。 （イ）あいさつで心地よかった経験を大切に、子ども一人ひとりと目を合わせて行っていく。 （ウ）返事をすることで、「相手の話を受け止めている」という応答の合図になるので、「聞いてくれていて嬉しい」という気持ちを伝えていく。
課題	アンケート②（姿勢良く座る）
取組方針	（ア）「グー・ペタ・ピン」など、子どもに伝わりやすい共通の言葉を活用しながら、正しい姿勢や着座を意識できるよう取り組んでいく。 （イ）遊びや生活の中で、粗大運動・微細運動の経験を積み重ねていく。 （ウ）運動機能の発達や育ちについて、保育施設間で学び合い、子どもの姿を共有しながら小学校との連携を深めていく。
課題	アンケート③（静かに話を聞く）
取組方針	（ア）小学校では、子どもが興味や関心をもち、聞きたくなる授業づくりを行う。 （イ）就学前施設では、遊びやクラスの話し合いの時間を通して、聞く力と伝える力を育む。必要感をもって話が聞けることを大切にし、聞くことで活動が上手く進む経験を積み重ねる。 （ウ）子どもの話を大人側が丁寧に聴く姿勢を示し、聞いてもらえたことの心地よさを子どもが経験できるようにする。

13　第１３ブロック

入谷・舎人・古千谷本町地域の小学校４校と就学前施設９園で活動している。主な活動として、体験給食（全園で実施）や学校探検（８園で実施）を実施している。

（１）第１３ブロック連携校・園・取組内容

小学校	就学前施設	①	②	③	④	⑤
舎人	足立みどり幼稚園	○			○	○
	聖保育園	○		○		○
	アスクとねり保育園	○		○	○	
	アスク舎人駅前保育園	○		○	○	○
	てのひらこども園	○		○		
舎人第一	とねり伊藤幼稚園	○		○	○	○
	いりや第二保育園	○		○	○	○
足立入谷	いりや第一保育園	○		○	○	○
古千谷	足立つばめ幼稚園	○		○	○	

①体験給食：学校給食の準備や配膳、食事、後片付けなど小学校の給食を体験する取組

②体験授業：小学校の授業を体験したり、小学校の教員と交流したりする取組

③学校探検：教室や図書室、校庭など、これから通う小学校の環境を見学する取組

④交流活動：児童と園児との交流活動や、音楽会や展覧会などを見学する取組

⑤交流研修：教員と保育者との研修会や校長講話等の取組

（２）主な取組事例

【参加校・園】古千谷小学校・足立つばめ幼稚園

ア　１年生との交流「がんばったよ できたよ１年生」

① 音楽（手遊び）、生活科（お祭り）、算数（時計・ブロック）のブースに分かれて、グループごとに１年生と交流した。

② １年生は園児が安心して遊べるように様々な工夫をしたり、優しく教えてあげたりしていた。

③ 園児は、最初は緊張していたが、１年生とのやり取りを繰り返すうちに笑顔もみられ、交流を楽しんでいた。

④ 時計・ブロックを使った活動に挑戦できたことを喜んでいた。

⑤ 交流後は、音楽で教えてもらったアルプス一万尺を友だちと楽しんだり、算数で体験した時計に興味をもち、時間を意識したりする姿が見られるようになった。





【参加園】とねり伊藤幼稚園・いりや第二保育園

イ　幼稚園と保育園の交流「一緒に遊ぼう！」

① 幼稚園の園庭で、幼稚園、保育園対抗でのしっぽ取りゲーム、ドッジボールをした。

② ゲームの後は、幼稚園児と保育園児がお互いに「一緒に遊ぼう！」と誘い合いながら遊ぶ姿が見られた。

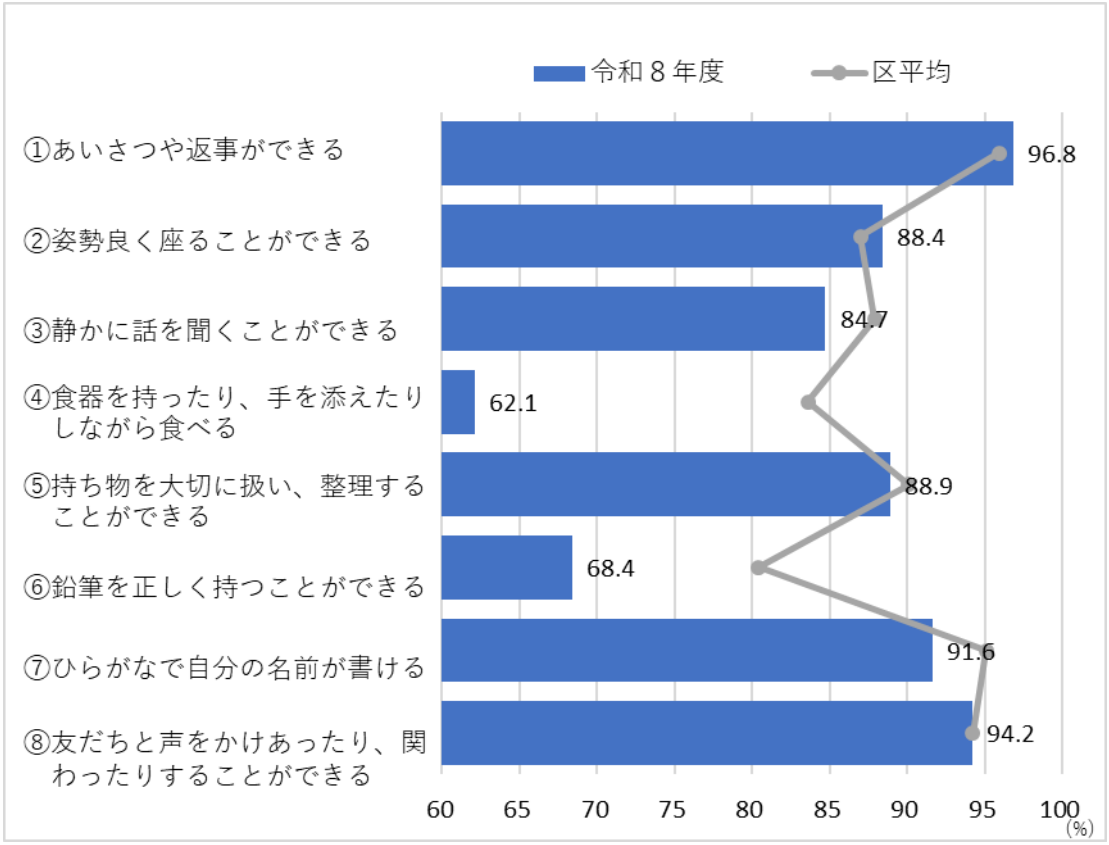
③ 初めて会う友だちと、にこやかにあいさつをして、あっという間に仲良くなり、子どもたちのコミュニケーション力に驚かされた。

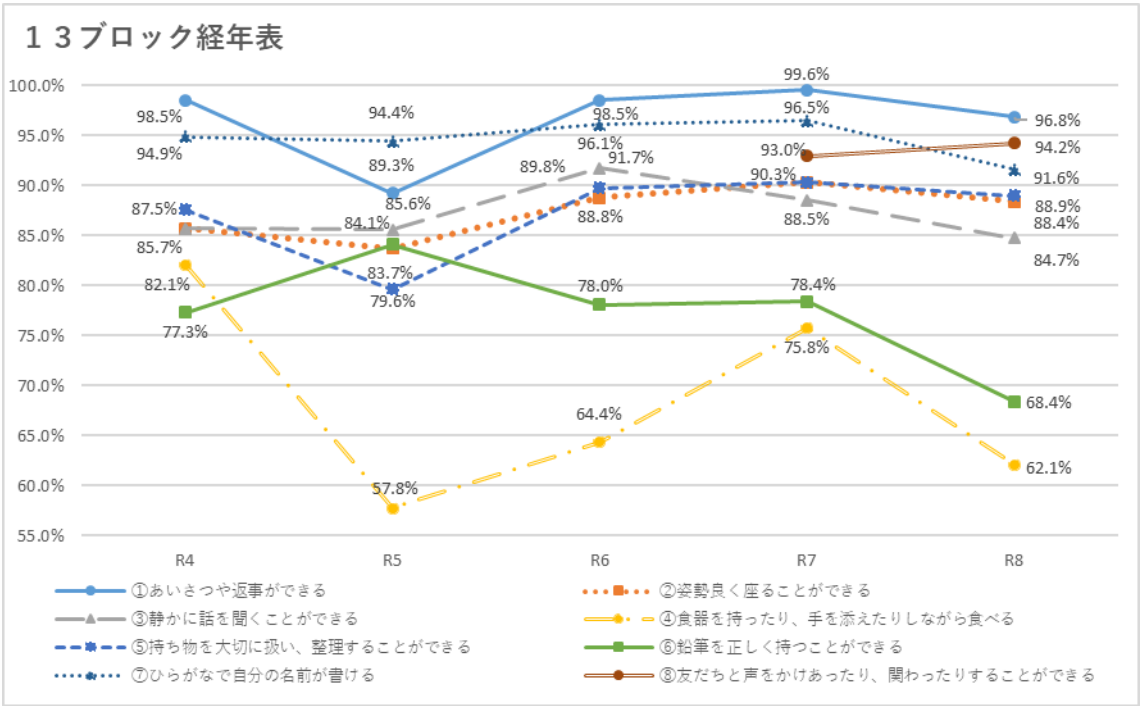
④ 「同じ小学校だね」「小学校で会おうね」などのやり取りも見られ、就学に期待と安心感がもてるきっかけになった。





（３）小学校第１学年の生活・学習習慣に関するアンケートブロック別結果





（４）アンケートの結果を受けた課題及び取組方針

６項目で区全体平均より下回っている。特にアンケート④「食器を持ったり、手を添えたりしながら食べる」は区全体平均より２１．５ポイント下回っている。ブロック会議では、数値の低いアンケート④「食器を持ったり、手を添えたりしながら食べる」を中心に取組方針を検討した。

課題	アンケート②（姿勢良く座る） （ア）姿勢良く座ることが難しい子がいる（体幹が弱い）。
取組方針	（ア）継続的にまっすぐ座るように指導をする。 （イ）体幹トレーニングをしていく。 （ウ）正しい姿勢の良さを伝えて、習慣にしていく。
課題	アンケート④（食器の持ち方） （ア）手を添える、食器を持つことが難しい。
取組方針	（ア）家庭への協力もお願いしながら継続的に声かけをする。 （イ）指先を使った遊びを活動の中に取り入れる。 （ウ）お箸ゲームで楽しく指導する。
課題	アンケート⑥（鉛筆の持ち方）
取組方針	（ア）鉛筆は全体的に興味がある。持ち方や筆順の指導が必要である。 （イ）就学前施設で三角鉛筆の持ち方を引き続き行っていく。 （ウ）小学校での声かけ、継続的な指導を行う。

Ⅲ　接続期教育研修 実績内容

１　目的

就学前教育・保育施設と小学校の円滑な接続を図るために必要な識見を深めるとともに、園・校種ごとに必要な指導・支援の力を高める。

２　第１回研修の内容

（１）テーマ

「幼保小の架け橋プログラムの展開について」

（２）講師

文部科学省初等中等教育局 主任視学官　田村　学　氏

（３）内容

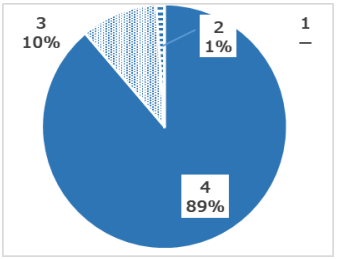
ア　教育課程の基準の改訂について
イ　幼児期の教育に学ぶ幼保小の接続について
ウ　体験の価値と言葉の価値について
エ　幼保小連携・接続の必要性・重要性について
オ　架け橋期カリキュラムの開発について

（４）受講者評価

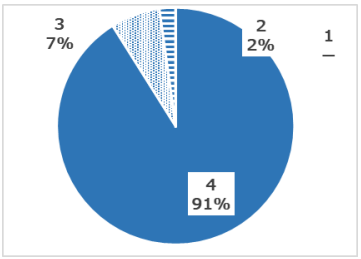
４段階評価　　１　２　３　４
低 → 高

ア　小学校関係者全体の評価

【研修の内容をよく理解できた】

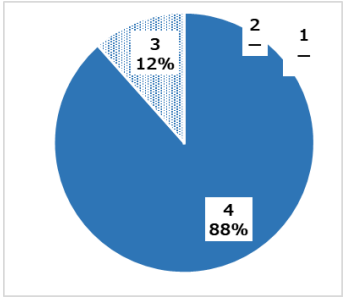


【指導や連携活動に活用できる】

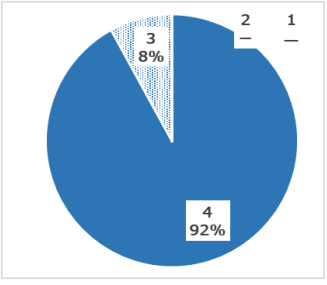


イ　就学前教育関係者全体の評価

【研修の内容をよく理解できた】



【指導や連携活動に活用できる】



３　第２回研修の内容

（１）テーマ

「幼保小の円滑な接続について　～体験活動の充実とその価値～」

（２）実践事例発表

ア　「体験したことや思いや願いを言葉にすること」

発表者：足立区立渕江小学校　藤谷　緑　先生

イ　「稲の栽培を通して見えてきた１０の姿」

発表者：帝京科学大学千住桜木保育園　野地　美月　先生

（３）講評及び講演

ア　講師：元足立区立小学校長　　山田　誠　氏

イ　講評

①　あだち幼保小接続期カリキュラムの視点について

②　体験活動（感じる心を育てること）について

ウ　講演：テーマ「体験活動の充実により豊かな感性と表現力を育てる」

①　体験活動に期待されること

②　体験活動と感性、言語化について

③　体験を通して表現力を養う

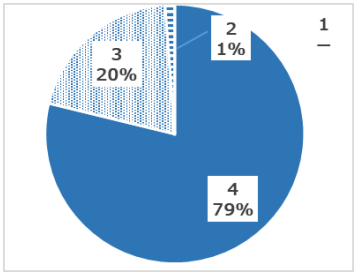
（４）受講者評価

４段階評価　　１　２　３　４

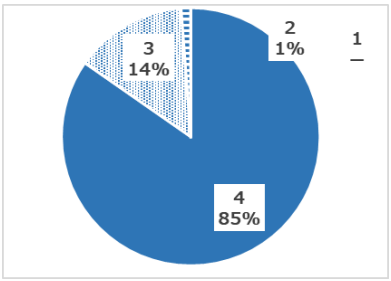
低 ⟶ 高

ア　小学校関係者全体の評価

【研修の内容をよく理解できた】

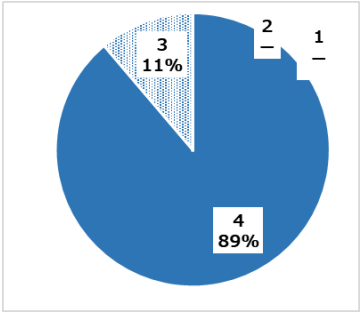


【指導や連携活動に活用できる】

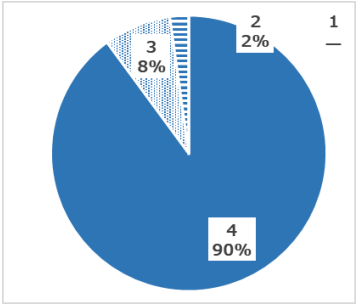


イ　就学前教育関係者全体の評価

【研修の内容をよく理解できた】



【指導や連携活動に活用できる】

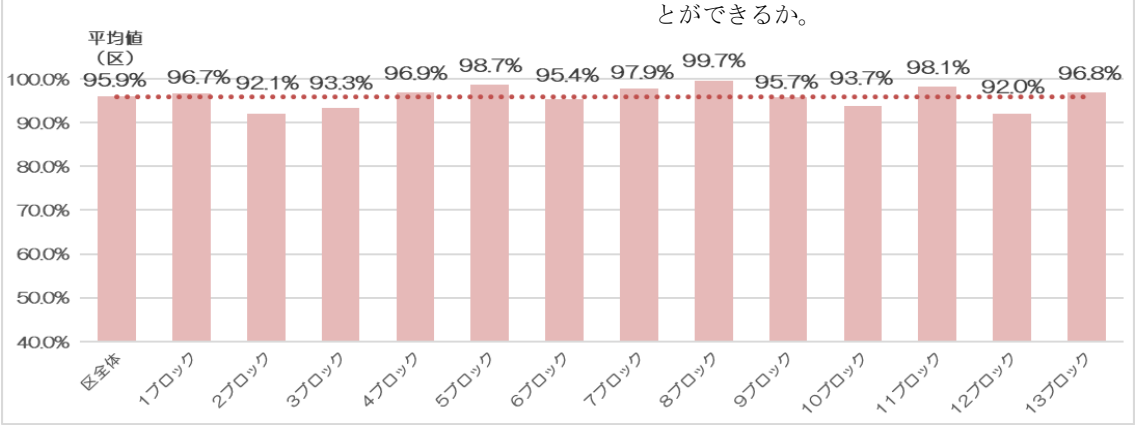


Ⅳ　小学校第１学年の生活･学習習慣に関するアンケート項目別結果一覧

１　ブロック別結果一覧

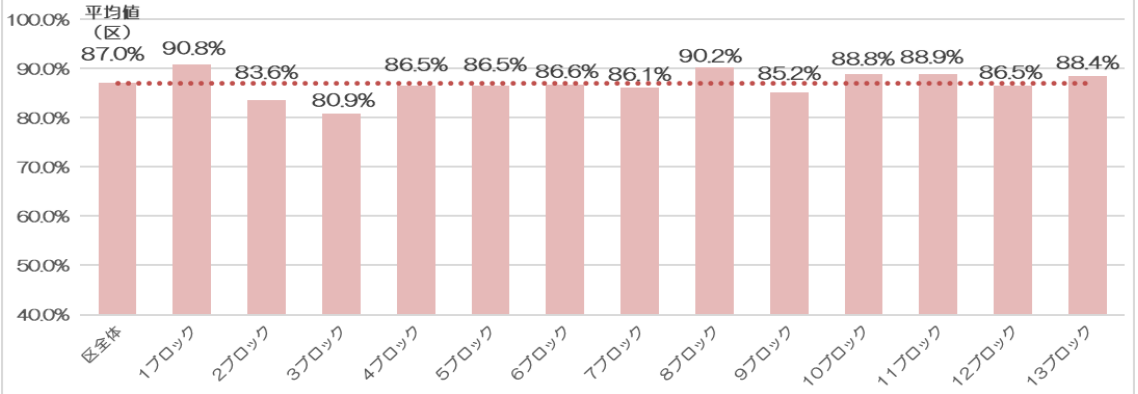
①あいさつや返事ができる

【視点】名前を呼ばれたら、返事をすることができるか。



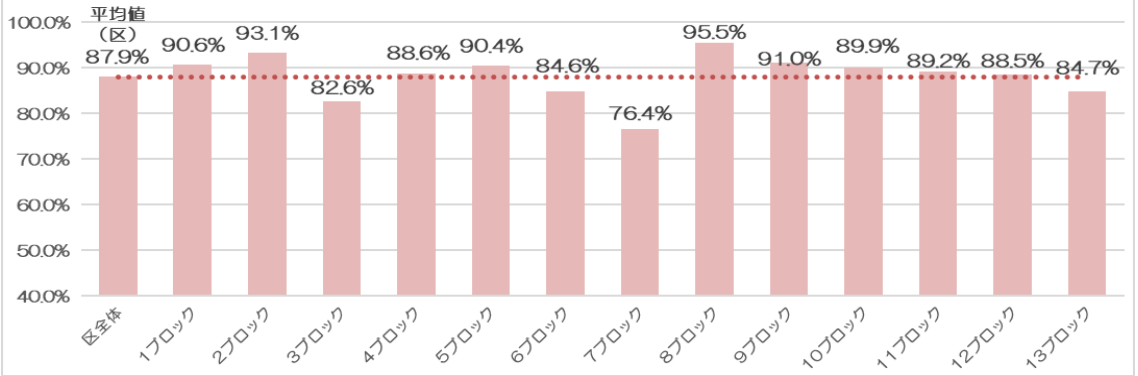
②姿勢良く座ることができる

【視点】教師の指示で、背筋を伸ばし、足を床につけ、前を向いて座ることができるか。



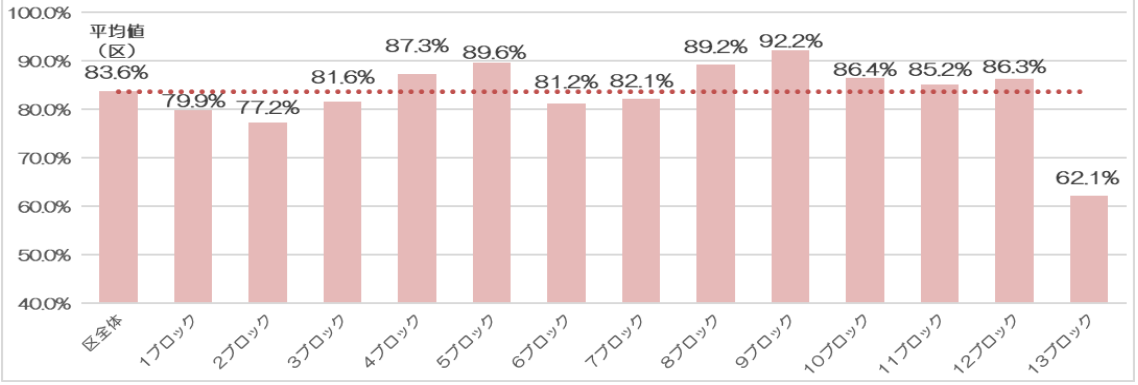
③静かに話を聞くことができる

【視点】話し手の目を見て、話し手の方に体の正面を向け、話を聞くことができるか。



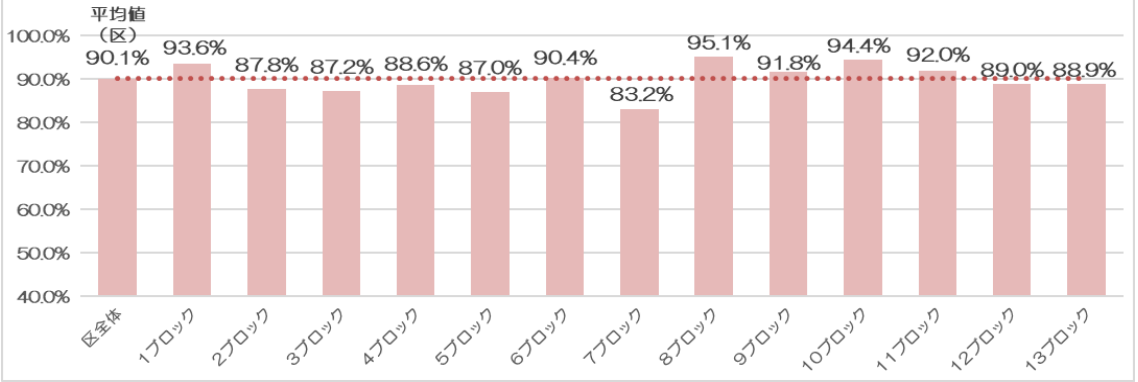
④食器を持ったり、手を添えたりしながら食べる

【視点】親指を食器のふちにかけ、他の指で底を支えて持っているか。または、食器に手を添えているか。



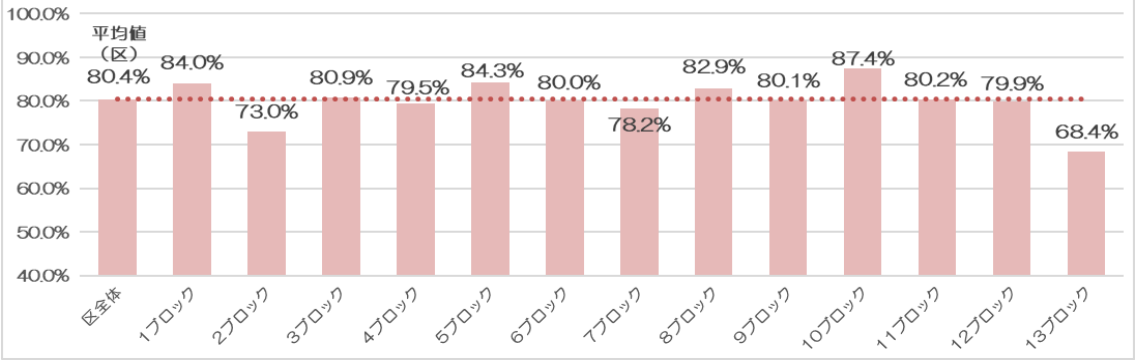
⑤持ち物を大切に扱い、整理することができる

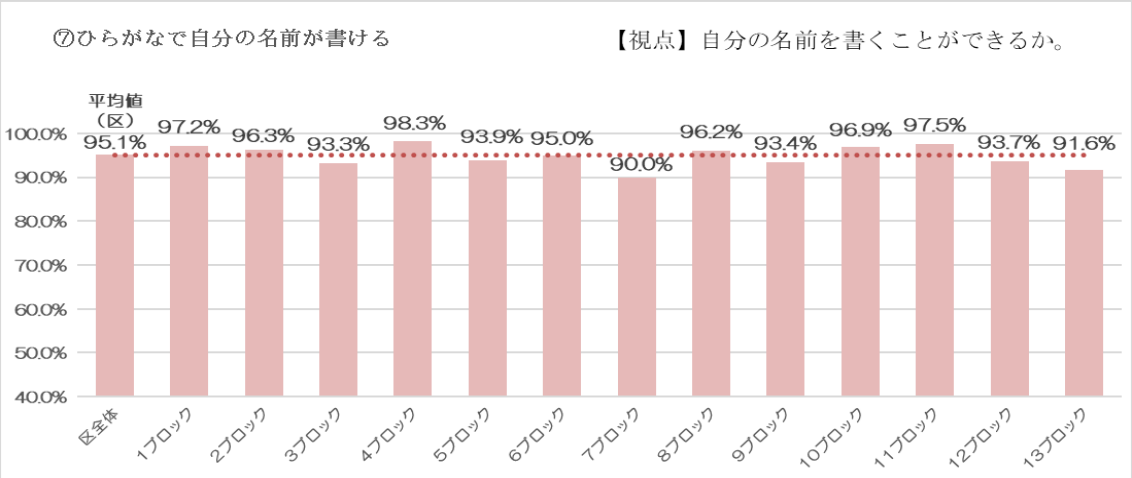
【視点】自分の持ち物を所定の場所にしまうことができるか。

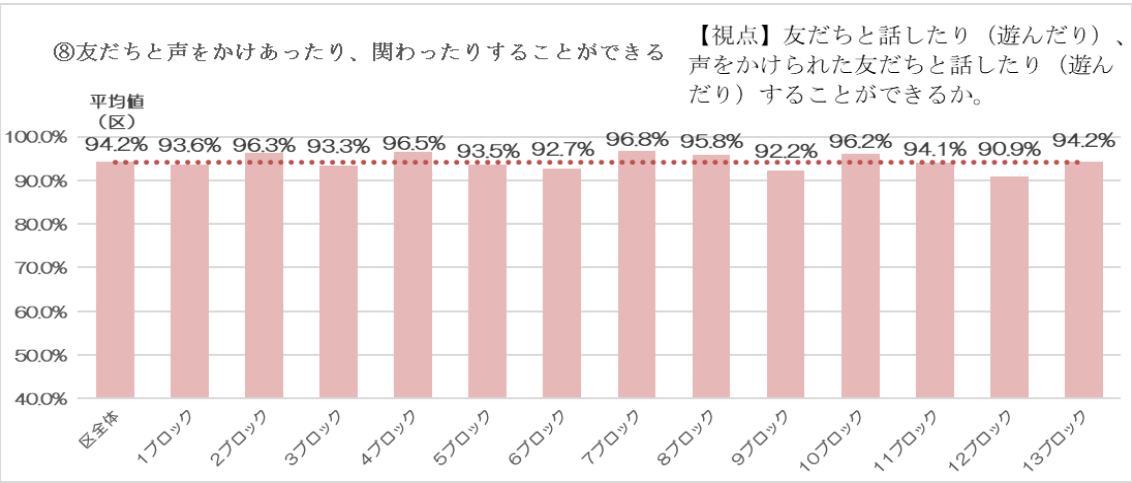


⑧鉛筆を正しく持つことができる

【視点】鉛筆を親指と人差し指でつまみ、親指が飛び出したもち方になっていないか。

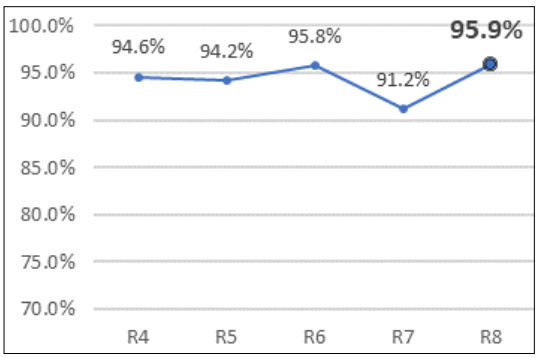




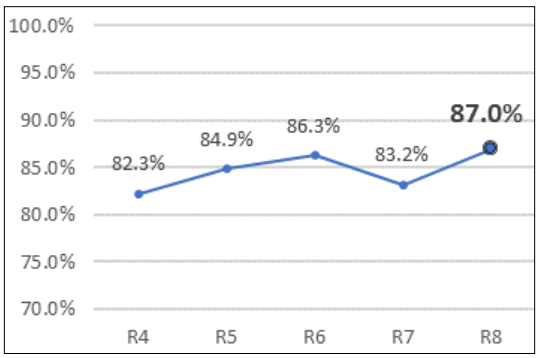


２　アンケート項目別経年表

①あいさつや返事ができる

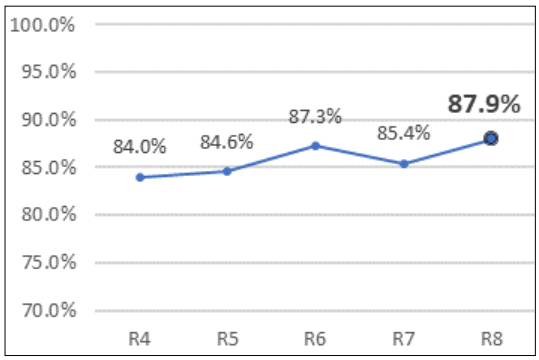


②姿勢良く座ることができる

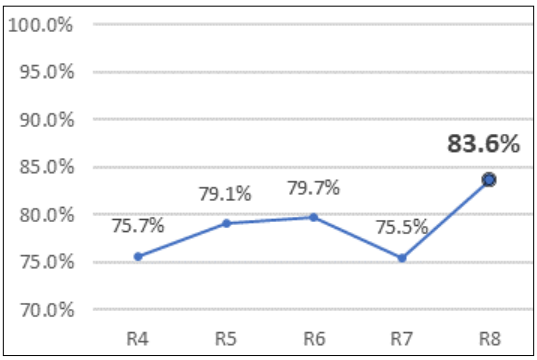


小学校第１学年の生活・学習習慣に関するアンケート項目別結果一覧

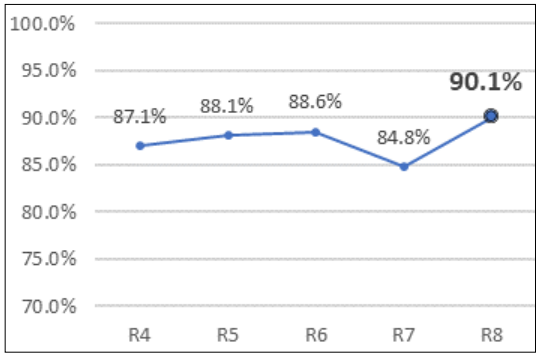
③静かに話を聞くことができる



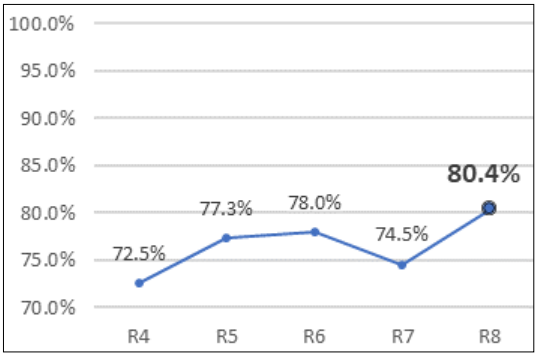
④食器を持ったり、手を添えたりすることができる



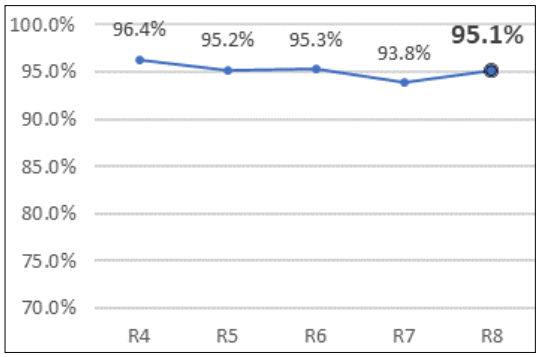
⑤持ち物を大切に扱い、整理することができる



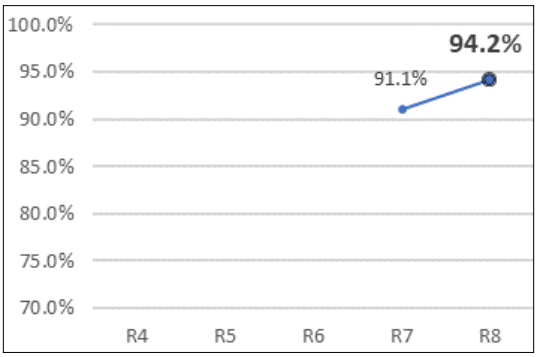
⑥鉛筆を正しく持つことができる



⑦ひらがなで自分の名前が書ける



⑧友だちと声をかけあったり、関わったりすることができる





幼保小連携活動報告

令和８年９月発行
発　行　　足立区教育委員会
編　集　　足立区教育委員会 子ども家庭部 子ども施設指導・支援課
東京都足立区中央本町１－１７－１
電話０３－３８８０－５４４３